昭和六年六月二十日　滿洲日報　（土曜日）　第九千三百十號　（一）

滿洲日報　夕刊　六月十九日



# 明年の軍縮會議には最大努力と誠意を傾倒　最初の六巨頭會議

【東京十九日發】國防問題及び外交問題に關する我國最初の政府及び軍部最高首腦部協議會は國際聯盟軍縮會議を中心問題として十八日午後六時から永田町首相官邸において開催、若槻首相、幣原外相、南陸相、安保海相、金谷參謀總長、谷口軍令部長の六巨頭のほか特に川崎內閣書記官長出席、先づ若槻首相より

從來政府並に外交當局と軍部就中統帥當局との連絡は全くないといふ有樣で兩者間の關係は書類と評判とによつて互ひに想像し合ふ程度に過ぎなかつた、而して之がため從來屢々兩者間の意思の疏通を缺きその結果多少の手違ひを生じた事もあつたと思ふ、斯かる事は國家のために甚だ遺憾である、明年軍縮會議を控へてゐる際であるから兩者一堂に會し隔意なき意見を交換したい

と挨拶したるに對し南陸相より此種會合は我々の最も希望してゐる處であると述べ晩餐を共にし七時より軍縮會議對策の懇談に入り約三時間半に亙り協議を爲し十時二十分散會したが今回の軍縮會議は軍備の全般に亙り國際正義と平和とを信條とし嚴正公平に臨まんとするものであるから我國として是之が成功に對し最大の努力と誠意とを傾倒する事に意見一致し又斯かる重大會議に對しては充分の研究と準備とを爲す必要があるのみならず我國の態度及び方針の決定が遲延する事は國民を迷はしむる事にもなるが故速かに對會議準備を促進すべきであるとする南陸相の意見に基きその通り取計らふ事に意見一致し次いで全權問題についても意見を交換した

## わが全權の顔ぶれ　政治、外交、軍部で五名

【東京十九日發】軍縮會議の全權については大體五人とし政治家より一名、外交官より二名、陸、海軍より各一名とする事につき十八日の六巨頭協議會でも意見の一致を見た、而してその人選については外國の振合ひを見た上で決定する事となつてゐるが目下下評に上つてゐる顔觸れは次の如くである

政治家一名　幣原外相と樞府顧問官石井菊次郎子であるが恐らく幣原外相は出まいと見られてゐる

外交官二名　駐佛大使芳澤謙吉、駐白大使佐藤尚武の兩氏

陸軍一名　部內では第四師團長阿部信行中將を推す事に決定してゐる

海軍一名　吳鎭守府長官野村吉三郎中將と航空本部長安東昌喬中將であるが野村中將と決せば安東中將は空軍顧問として參加するであらう

## 宇垣總督就任挨拶

【東京十九日發】宇垣朝鮮總督は今朝十一時二十分首相官邸に訪ひ閣

## 親任式　今井田總監

【東京十九日發】兒玉政務總監の辭表は飛行便によらず近藤秘書官が携へ十九日早朝着京近藤秘書官は午前九時半原拓相を官邸に訪ひ右辭表を提出したので原拓相は午前十時若槻首相を官邸に訪問、右辭表を首相に手交した、よつて若槻首相は定例閣議散會後宮中に參內兒玉總監の辭任を執奏すると同時に遞信次官今井田清德氏を後任として內奏し同日午後左の如く親任式執り行はせられた

遞信次官正四位勳三等　今井田清德
任朝鮮總督府政務總監

依願免本官　朝鮮總督府政務總監　兒玉秀雄

## 兒玉前總監挨拶

【京城特電十八日發】兒玉政務總監は十八日午前十時より政務總監應接室に本府內における各局長を招致し臨時局部長會議を開催したが兒玉總監より辭任の挨拶を述べ次いで進捗について希望した

## 朝鮮各局長更迭か

【東京特電十九日發】朝鮮總督總監の更迭に伴つて今村內務、松村殖產、武部學務、森岡警務、大村鐵道の各局長は辭任するもの、觀られてゐるがこれが後任は今井田總監赴任後補充される筈

## 貴族院制度調査會

【東京十九日發】貴族院制度調査會は十八日午後二時から貴族院內に第四回會合を開き德川議長、近衞、細川正副委員長以下各派委員出席、先づ近衞委員長から既報の如く七名の小委員を指名し承諾を得た旨の報告あり、次いで前回に引續き議長の提案にかゝる常任委員制度擴張案を議題とし前田子、馬場氏、黑田、松岡兩男、水野、加藤兩氏から質疑あり成瀨書記官長これに應答したる後加藤政之助氏は互選規則改正問題の質疑を提唱し小野塚喜平次氏の說により之を次回來月三日まで留保することゝして同四時半散會、次いで貴族院の會派の本質的檢討をなすべく小委員會を別室に開會して初顔合せを行ひ來月七日その第一回會合を院內に開くことを申合せて直に散會した

## 外地學位令の運命　樞府が飽く迄原案に反對せば政府は撤回の方針

【東京特電十九日發】植民地學位令に關する十八日の樞府審査委員會では議論紛糾し樞府の大勢は植民地なるの理由を以て長官に學位授與の權限を與へる事は當を得ないとし修正せねば否決する事に大體意見一致してゐるが、之に對する政府の態度は理論上は兎に角文部大臣の權限は實際問題として植民地に及んでゐないので事實上樞府の修正に應ずる事出來ぬと強硬な態度を取つてゐるが、斯かる問題で政治的に事態を重大化する事は政府の執らざる處なので政府側では樞府が飽くまで原案に反對するにおいてはその修正に同意する事なく撤回するに決した

## 江木鐵相入院　胃部の腫物切解

【東京特電十九日發】江木鐵相は例の減俸問題前後から胃腸病に惱んでゐたが其後の經過捗々しくなく胃部に腫物が出來てゐる模樣であつて或は手術を要するかも知れない容態にあるので二十日帝大病院鹽田外科に入院する事となつた病室は偶然にも濱口さんの隣りの部屋である

## 日支法權交涉繼續　我大綱を支那側に提示

【南京特電十八日發】重光代理公使は王正廷氏に對し法權交涉に關する日本の大綱を昨日手交した、但し列國の法權交涉停止中に日本が抜がけをする意味のものではなく只交涉を繼續してゐる意味を證明するものに過ぎない、從つて今次の會見から法權の具體交涉が遂げられる模樣はない

## 張學良氏の生死　適確の情報無し　蔣介石氏は最も苦境に立つ　重藤參謀本部支那部長談

【京城特電十八日發】參謀本部支那部長步兵大佐重藤千秋氏は十八日午前七時京城驛着入城備前屋旅館に投宿したが支那事情につき往訪の記者に語る

東京出發の際張學良氏の死亡說を聞いたが何等適確の情報を得ない、我が派遣顧問からの報によれば腸チブスで重態だとの事である、軍部としては顧問の電報を信じる外はない、最近關外軍隊を關內に移動せしめたことを自分は最も不可解に思つてゐるが若し張學良氏の死亡が確實とすれば斯くあるべきは當然で關內の治安を維持するためには關外の軍隊を集中させる事は必然的だと思ふ、例へ張學良氏が死亡したとて日本の滿蒙政策に何等變化を來す樣な事はない、對支外交が軟弱なりと非難する者もあるが先づ國民自ら覺醒して努力することが必要で支那へ條約無視を責めんとすれば先づ外務省を責むる前に國民全體を責むべきである、南支那は南京政府と廣東政府の

## 王樹翰氏昨日學良氏を見舞ふ

【北平十九日發】國民政府より文官長に任命された王樹翰氏は昨日奉天より來平直に張學良氏を病床に見舞東北の近況につき報告した

## 奉天へ軍費　五十萬元到着

天津から十八日現大洋五十萬元が到着した中央政府から軍費として送付されたもの、一部である【奉天電話】

## 剿匪軍幹部任命　蔣氏出陣一兩日延期

【上海十九日發】蔣介石氏は共匪討伐出征を更に一兩日延期したが昨日附左の如く任命した
長江上流一帶共匪討伐總指揮　劉峙
左翼軍總指揮　朱紹良
第八軍長　趙觀濤
第九軍長　蔣鼎文

## 正陽關危し　安徽共產軍猖獗

【南京特電十八日發】安徽北部に共產軍猖獗を極め阜の上流正陽關は極めて優勢な共產軍に完全に包圍され危機に瀕してゐる、それがため中央としては兵を派して
旣に公務を執つてゐる

## 鮮農問題に對し外務當局も强腰　拓務省派遣の荒基氏談

拓務省より北滿事情調査の要務を帶び派遣された荒基氏は十九日入港ばいかる丸で來連したが語る

最初は營口から鴨綠島方面の視察を先にしやうと思つたんですが鴨綠島入りは大分やかましいと聞いたので先づ洮昂線方面の視察を主にする事にしました、先づ營口に行つて四洮鐵路で鄭家屯に出てそれから齊々哈爾に出てマンチユリヤ方面を視察しやうと思ふ、數年前外務省に居つた時分芝罘、奉天、哈爾濱、長春を廻りその時四洮線は見たから今度は洮昂にしたいと思ふ營口から遼西方面が閑却され過ぎてゐるやうな氣がするのでその方面に特に力を入れて見てくる積りです、主として特產の出廻り狀況視察ですが殊に峰と營口を結ぶ地方がどんなに發展をするかと調べます、ハルビンに出たらボグラ地方に足を入れ

鮮人狀況を視察します、水田事業に對する支那側の壓迫が問題になつてゐる際無駄ではないでせう、萬寶山問題に對しては外務省邊りもかなり強氣に出るやうな樣子でした、その後の情勢は知りません、張學良の生死にかゝはらず困りものですその後の容態はどうですか內地では眞相の補捉に苦しみますよ、滿鐵新總裁內田伯は適任でせう、經濟問題の前に外交的に種々な懸案を片づける氣でせう【寫眞は荒氏】

## 滿鐵新正副總裁　來月七日東京發着任

滿鐵新總裁內田康哉伯は江口副總裁と共に七月五日東京發途中桃山御陵、伊勢神宮に參拜し八日神戶出帆の香港丸に乘船十一日大連着の豫定である旨十九日滿鐵本社に入電あつたが、在京の各理事も新總裁と同船にて歸連するものと見られてゐる

## 全歐洲外相會議　英外相へ氏から要請

【ジユネーヴ十八日發】英外相へンダーソン氏は先の英獨チエーカース會談の結果に基き山積せる國際的諸問題解決のため歐洲諸國外務當局者聯合會議を開くべく全歐諸國外相に來る七月十三日ジユネーヴに會合されたき旨要請したさ

## 英首相外相伯林訪問に決定

【ロンドン十八日發】英國政府發表に依ればマクドナルド首相はチエカース會談の答禮の名義にて來る七月十七日ヘンダーソン外相と共にベルリンに赴きドイツ政府首腦部と會見するに決したと、右會見ではチエカース會談の結果につき其後兩國の研究した結果を披瀝し合ふと解され差し迫つた賠償及戰債支拂ひ等の重要案件につき形勢進展を見るべく期待さる

## メリニコフ氏廿日出發

【ハルビン特電十八日發】駐日代理大使に任命されたメリニコフ氏は廿日ハルビン發東京へ赴くさ

## 減俸問題で頗る多忙だつた　三浦內務局長語る　滿鐵首腦更迭は內地で好評

滿鮮運輸會議出席の爲上京中であつた關東廳內務局長三浦碌郞氏は折柄問題となつた減俸反對に關し關東廳方面の要望傳達、植民地官吏の現狀說明等全くこれが爲上京した如き多忙な日を送り約一ケ月ぶりで十九日入港ばいかる丸で歸任、サロンに訪へば語る

自分は減俸問題で行つたわけでないのだが時期が時期だけに全くその爲に行つた樣なものだよ關東廳からの電報もあつたし本省の方でも事情聽取を急いでゐるといふので門司で下船して陸路急行するといふ樣な忙がしい日を見た、そしてやつと廿五日の閣議の間に合ふ樣に說明することが出來た、恰度臺灣から專賣課長、朝鮮から內務局長が同時に減俸問題陳情の爲上京してゐたが、自分も塚本長官、中谷警務局長並びに各方面よりの陳情電報や報告電報によつて關東廳に働く官吏の現狀を充分拓務者に述べておいた、無論こちらは官吏だから餘り無茶も出來ないがこちらの言分は拓務省方面に好い感じをあたへ原拓務大臣の如き殆ど孤軍奮鬪の形で植民地の爲に加俸減額反對の態度を執つて居られた、臺灣、朝鮮の如きは物凄い運動をやつてゐるが

關東廳の役人の統制のされた飽まで順序立つた態度は評判がよかつた、とにかく結果は如何に拓務省が決定してくれるか解らないが結果のいかんにかゝはらず一生懸命である事は喜ばしい事だ、自分は拓務者には何度足を運んだか知れないが側面攻擊の必要もあるので安達內務大臣にも面會し說明しておいた今度行つた目的は鮮滿連絡會議

## 東亞の謎　國枝史郎　挿畫　伊藤順三

### ダンサー小夜子（五）

このことも苦になつてゐたからであつた。

事實以前の小夜子といへば、さういふ輕快な服をつけて、肌々とした肩やふくら脛を、ムキ出しに見せつけてゐたものであつて、さうしてさういふ姿の方が、彼女に似合つてもゐたのであつた。ところが今の彼女と來ては、漆黑で地の厚い支那繻子のやうな服地で、四肢を隙無く隱したやうな形の一奏服のやうな服を着てゐるのであつた。

と次郞はおびやかされてしまつた。

と云ふのは次郞がさう云ふや否や。

「お默り！何んだい！何を云ふんだよ！いらぬお世話さ！默つてるさいよや！」

さ、まるつきり性質が變つたかのやうに毒々しい憎さげに叱りつけるやうな調子で、四邊に幾組か踊つてゐるのに、そんなことも何も忘れたもの、やうに、かう小夜子が叫んだからである。

次郞は思はず足を止めてしまつた。

ぷなく次郞の方が辷りさうになつた。

「何だ、小夜ちやん、どうしたんだ」

次郞はステップを調べながら、呆れ返つといふやうに、かう云ひ小夜子を凝視した。

そこで又彼は驚かされて了つた。彼女の顔が眼に蒼褪め、彼女の眼瞼が涙で濡れ、彼女の唇が顫へてゐるからであつた。

ひどい衝動を受けたもので無ければ、さう迄も表情の變はるものでは無い。

どうにも次郞には解せなかつた洋服の批評をしたといふことが、どうしてそんなに彼女の心を、刺戟したといふのだらう？

間もなくバンドが止んだので、

## 茶番

◇…滿鐵東京支社の平山庶務課長といへばアノ圓顔からの聯想だらうが「滿鐵の大塊和尙」だとのニツクネームがあるさうな。

◇…滿洲の黃土山に築かれたるアノ圓顔、黑い鼈甲ぶちの眼鏡の奧にクルくした可愛い眸、突き出たドン腹、肥つた四肢、二十數貫の身體から發散する愛嬌、何事も不得要領のやうで至極要領を得て居り、身なりなども一向無頓着だから不粹者かと思へば、どうしてく。

◇…チヨツと左に傾けると、紅顔な粹な唄も咽喉から出して見せる。さうかと思ふと、遊び過ぎる若い者の叱り役にもなるといふから、大洲支社長が「平山君は苦勞人ですよ」と太鼓判を押すのも尤も千萬。

◇…この人の存在で、滿鐵東京支社の綜合が、一層潤滑な大洲支社長の統制がいよく能く行はれてゐる、滿鐵支社に出入りのものにしても滿鐵東京支社の存在は、平山さんの和みを想はせる課長】

## 紅軍の歷史的性質（下）　たちばなしらき

六

將來は兎に角今日までのところ、紅軍の持つ强味は、主として彼の共產黨や第三國際の支援に負ふと見る一般の考へ方が必ずしも眞でないことは、大體上記によりて明かにされたと思ふ。然らば彼等の底知れぬ根强さは一體何處から出て來るのであるか、私はこれを紅軍の持つ歷史的性質の中に求むべきだと思ふ。陳勝吳廣が亂暴をかゝげて秦の天下を覆へした昔（紀元前二世紀）から後漢の黃巾（第二世紀）唐の黃巢（第九世紀）清の太平軍（一八五〇—一六四年）を經て目前の紅軍に至るまで、周末以後の支那の政治史は大小の農民戰爭で一貫されて居るといつても過言でない。

七

虐げられた農民は其重苦しい經濟的、政治的、社會的及天然的桎梏からの解放を、永い歲月を通じて空しく待望した末、諦めの代りに「眞命天子」なる迷信又は妄想を得て夫れに縋りついた。これはユダヤ人のメシヤ思想と共通するもので、眞命天子の降臨によりて一切の苦惱が解消されるといふ信仰である。さころで現實の世界では、眞命天子の降臨する以前に、飢餓が屢々民衆を脅かす。地主や官吏の壓迫がこれに加はる。かくて彼等は覺えず知らず農民戰爭のスタートを切るのであるから、支那の農民戰爭には意識的無意識的に、必ず眞命天子を待望するところの宗教的氣分が搖曳する少くも通俗道敎の起源と關係ある黃巾運動以來、歷代の大規模な農民戰爭は多くの場合宗教的（邪敎）であつた。

八

かゝる意味での農民戰爭、隨つて其遂行者たる農民軍に對しては、支那の農民、少くも貧農——小作農及び農業勞働者に恐怖の代りに親みを感じ、反感の代りに同類意識を抱くのである。斯樣な氣分の中に生活している貧村貧民の社會に取つては、よく訓練された紅軍は恐らく眞命天子のために道を淨めるものであり、よく組織された鄕村ソウエートの公平なる資財分配は或は眞命天子の降臨そのものであるかも知れない。彼等の欲するところは唯生活の安定であり、これを與へるものが如何なるイデオロギーの所持者たるかは決して彼等の問ふところでない。

九

これを要するに現在の紅軍は其本質に於て自然發生的な農民軍に外ならぬ。それが共產軍となるか、その他の軍隊として止まるか、或はこのまゝに解消するか、それは全く將來の問題である。軍事技術及戰略的に集中し得る部隊の數から言へば、紅軍は恐らく南京軍の敵でない。故に他の故障さへなくば、後者は今のところ尙前者を克復し得るであらう。併しそれは單なる軍事的克復に止まり、政治的、經濟的不安は依然として殘る。卽ち第二の農民戰爭の原因は昔のまゝに農村に醞釀し、左翼運動のための肥沃な地盤は相變らずそこに展開して居る。國民黨が今少し進步的な農民政策を建て得ぬ限り、紅軍の根を斷つ望みはないであらう（完）

## 滿鐵總裁　蛇角

副總裁の更迭、內地では評判が良い、どうしてもこれからは外交が主にならなければならぬだらうれ、關稅問題に對しても一應は說明しておいた、とにかく內地はまだ餘りに對滿蒙問題を了解してゐない、全く對岸の火災視してゐる向が多いので困つてしまふ、もつと根本的にこの方面の智識を與へる必要がある、西兎に角心强いことには拓務省が非常に腰が强い事だ、西山財務部長も大藏省側と充分打合せて居てくれた、西山君も近く歸るよ

のためでこれは先月廿八日から卅一日まで參謀本部で開かれ輸送計畫の改善などといふ恒例のものだがこれは大した事はなかつた

近代の詔勅は六ケ敷くないかとの御下問、あらゆる意味を含む聖旨の廣大、我らはただ感泣する。

◇

植民地學位令、產婆役の樞府でいぢめられ流產となるらしい、やはり產婆役は爺さんでは駄目、產爺役といふのはないから。

◇

江木さんの胃へ腫物が出來た。パンの問題で部下をいぢめたからかな。

◇

滿日旗を北極にたてる—チラス號、英國でトは早くたのみます。

◇

愈々實滿第三回戰、レー、實業！

# 明日の一戰目差し 兩軍の意氣衝天
## 果して滿倶軍の覇業成るか 實業團雪辱するか

去る十三日全滿野球ファンの熱狂渦巻くうちに火蓋を切つて落した本社主催の大連實業團對大連滿洲倶樂部の定期野球戰は第一第二回戰とも大連滿洲倶樂部に凱歌揚り愈々明二十日午後四時廿分より第三回戰として高須一雄、熊谷玄兩氏審判の下に兩雄相見ゆることゝなつた、大連滿倶果してストレートで勝ち三年連勝の榮冠を獲得するか、大連實業の雪辱成つて第四回戰に進み得るか興味はいやが上に高潮し、苦境時代にある實業としては今年の試合は敗られない試合である、巨人山下以下濱崎高須近田野田等滿倶の健棒を封ずるには岩瀬木下兩投手の好投を待つのみで、第一第二回戰の戰況より推察するに戰ひは五分五分である、一二回戰に優るとも劣らざる白熱戰となるであらうことは據測するに難くない、雜夏の蒼空に鳴り響くバット、覇目指して必死となつて戰ふ兩軍選手　昭和六年度の覇權をいづれのチームが獲得するか、明日の一戰に興味は集中されてゐる

## 金福副社長 けふ歸任

社業打合せのため上京中であつた金福鐵路副社長和出駿氏は十九日のばいかる丸で歸任した、同氏の上京中、同社は例の減俸問題に絡り紛糾を續けてゐる際とて同氏の歸任は注目されてゐるが、語る

こちらの事情は新聞でも見たし社よりの報告にも接してゐるが自分はこれから歸るのでよく樣子は解らないが新聞で報ぜられてゐる所は少し大げさなんではないだらうか、滿鐵よりの助成金は退職手當に繰り入れるべきだなんて騒いでゐるやうだが、これは當らない、會社は五ケ年五十五萬圓の助成金を滿鐵から補助して貰つてゐたのだが、もう期限も切れたし、こう銀が安くてはやり切れまいじやないか、内地の私鐵でも困り切つてゐる本社に行つた上でよく調して見るが、會社の立場も大いに了解して貰ひたい

の多額の被害は、當額に上る見込みで福民間でも珍しい紹介狀詐欺として各地一樣に取調中

期船ばいかる丸は豫定より遲れ午前八時半港外についたが同船が探し出すのに一苦勞し漸く汽笛を頼りに探し出したが、ばいかる丸がアンカーを降そうとする時、霧の中からぬつと現はれた武賀丸にあやふく、ばいかる丸はひつかけられる所で乘客一同膽を冷した

# 漸く自力で航行
## 左舷エンヂンの修理が完成 ウイルキンス大尉

【ノ號十七日發無電】二日間にわたる機關部員の獻身的努力の結果はノーチラス號の左舷エンヂンは完全に修理なり、充分自力にて航行する自信を得たので本艦を曳航してくれた米戰艦ワイオミング號の曳索を今朝とき放し目下一時間七節の速力で自力航行を續けてゐる、これは種々なハンデーキャップを考慮すれば頗る良い航行狀態だといはねばならぬ、ワイオミング號は萬一の場合を慮つて今なほ本艦を護衞してゐる、補助エンヂンの調子もよく蓄電池の充電も有效に行はれてゐる、この二日間乘組員一同元氣旺盛ながらソトマイン丸斯らしいものに中毒大いに惱まされたが、これもいまは回復した、グリニッチ標準時十七日午後八時現在の位置北緯四十八度二十四經二十度四十（社版權所有）

# 滿鐵社友會館 建設の計畫
## 藤根氏の功勞を記念 社員有志が資金募集

今回新舊滿鐵社員有志が發起となり藤根氏記念事業會を組織、さきに廿有七年滿鐵のために努力なつゞけ任期滿了と共に辭任した社員理事藤根壽吉氏の功勞を表彰して氏に記念品を贈呈し、更に何等か記念を起すことゝなり、この資金募集を開始したが、金額には制限を設けずあらゆる方面の氏に關係ある人々からの醵金を集めることゝなつた、なほ記念事業は實行委員の手にて計畫中であるが藤根氏の意志を尊重し公益事業を起す計畫で目下のところ藤根氏がその實現に力を注ぎつゝあつた滿鐵社友會館の建設と同時に藤根ホールを設けること、公園内に公共設備を施すること等その他數種を研究中で、醵金額が決定次第具體的決定をなすと、なほ送金は滿鐵本社工事部庶務課内藤根氏記念事業會宛送金されたいと

# 全滿各地にて 紹介狀詐欺
## 奉天では二百名を招き宴會 民政黨調査員と稱し

【ハルビン特電十八日發】五月下旬ハルビン北滿ホテルに原籍東京芝區、職業民政黨本部調査員と名乘る大村保(三〇)なる者宿泊し約一週間滯在有力筋の紹介狀と堂々たる風采で各方面より調査費と稱し多額の金を捲き上げた上、ホテルや各料理店の支拂もなさず東部線視察に赴くとてそのまゝ行方をくらました、よつて手配中のところ同人はその後長春、奉天、大連と同樣の手段で金を集め歩き種々の變名で大連では遼東ホテルをふみ倒し多額の金をしぼつてゐたのが奉天瀋陽館より同人の命なりと北滿ホテル氣付で宿泊料の請求に來たことより判明した、ハルビンの被害は七、八百圓位であるが、奉天瀋陽館では同地の知名士二百名を招いて大宴會をやつてをり、その

# 陳情を一蹴され 理髮料値下げか
## 小洋建の華人に對抗

大連理髮業組合では十九日午前十時長野組合長以下役員が大連署に原田衞生主任を訪ひ過般支那人理髮業者に發命した「料金は日支人共小洋建てにすること」を中止し日支人客とも金票をもつて徵收するやう改正して貰ひたいと陳情した即ち組合の言分は從來支那人同業者が日本人客には金票、支那人客には小洋で料金を取つてゐる時でも日本人同業者には可成り影響があつたが、今回の如く日支人共小洋建にされては顧客の殆んどを支那人側に奪はれ、さなきだに不況の折柄、日本人側に致命的打撃を蒙るといふのである

大連署では日支共金票建にすれば支那人客に取つては非常な値上げとなると、組合の要求を一蹴したから日本人が支那人と競爭してゆくには時代の趨勢に應じ自發的値下げの外はあるまいと一般から見られをり、近く大連署でも湯屋同樣日本人理髮業者に對しても正式値下の慫慂を行ふ模樣である

## ばいかる丸濃霧で危く衝突

ミルクを流した樣な濃いガスで定

# 西部大連の 軟式野球大會
## 七月五日から沙河口球場で 支局主催で擧行する

本社西部支局では滿鐵鐵道工場野球部並に沙河口實業團後援の下に來る七月五日より沙河口球場に於て西部大連軟式野球大會を開催することゝなつたが、西部大連に於ける最初の大會として盛況を豫想されてゐる、なほ申込規定左の如し

▲參加資格　西部大連に於ける團體（官廳、學校、會社、商店）に所屬せるチームに限る、一時的に組織された倶樂部は認めず、又硬球選手として認める者は出場を斷ることあるべし

▲申込方法　選手、主將、監督名を明記し責任者を以て申込みのこと、申込と同時に一チーム二圓の參加料を納めること

▲申込場所　鐵道工場よりの出場チームは工場内三根氏宛に、市中側より出場チームは沙河口市場事務所内岩本氏宛（電九三三九）に申込みのこと

▲申込期日　六月三十日限り

▲主將會議　七月二日午後五時より（場所未定）

# ハルビン名所の ユダヤ寺院全燒
## 消防隊員十一名死傷

【ハルビン特電十八日發】ハルビン名所の一たる埠頭區外國四道街の角の猶太寺院は十八日午前四時半漏電のため發火全燒して七時半鎭火した、同寺院の天蓋の壁畫は莊麗なので有名であつたが一面の焰と共に燒け落ち同内にをつた消防隊員十一名下敷となり二名即死、重傷數名を出した

# 御外遊國の大公使に 高松宮兩殿下賜餐
## けふ赤坂離宮にて御歸朝御披露

【東京十九日發】高松宮同妃兩殿下には十九日午後零時半より赤坂離宮に今回の歐米御巡遊中御訪問遊ばされた二十五ケ國の大公使を召され午餐會を開き御歸朝御披露の宴を張られたが、幣原外相、安保海相等も陪席した、右終つて午後三時半より引續きレセプションの形式に依る御茶の會を催され安達内相、關屋宮内次官等百五十名の縁故者並に今回の御外遊に直接關係のあつた海軍、外務、宮内各省關係の諸員に賜謁茶菓を賜つた

なほ兩殿下には明二十日天皇皇后兩陛下御招待の午餐會に臨ませられ、二十一日夜東京御發伊勢神宮、畝傍、桃山各山陵に御歸朝御報告のため御西下遊ばさるゝ筈である

# 早大柔道部 けふ遠征し來る
## 試合より練習が主眼 引率者の德六段語る

早稻田大學柔道部選手一行十七名は師範德三寶六段に引率され十九日入港のばいかる丸で來連したが德六段は語る

滿鐵沿線を見、後上海まで旅行し七月八日長崎に　る豫定です私の健康も三四年前は過勞から來た猛烈な睡眠症に襲はれ練習中に眠つてしまつたなんてこともありましたが、幸ひもうすつかり全快しました、內地の學生柔道界は早大の笠原君が卒業して以來全く群雄割據の形で、今度來滿した伊勢五段などはその中でも傑出した一人でせう、學生チームとしては早、明、文理の對立時代で明治は秋にアメリカ遠征を行ふとか言つてゐました、關西、關東の柔道の技の比較はよく出る話ですが、相變らず寢技は關西の方が盛んなやうです、これは關西の高等學校の選手達が試合に勝つための練習を猛烈にやる結果と思ひます、私達としましても勿論、立技、寢技とも併行した發達に努力してゐますが、特に姿勢を正しくするやう一同に注意を促してゐます、柔道選士權大會の是非論が出るのは結局認定審判の可否論にあると思ひますが、事實認定審判には東京でも非常に議論があり、また實際上から見て不徹底な點もありますから今後大いに研究を要する問題でせう、

## 船中でも練習 主將尾崎四段談

今度の遠征は練習が主で試合はやらない豫定になつてゐます、また主將尾崎四段は語る

船足の見學旅行で、がこの機會に出來るだけ實際の支那を見たいと思つてゐます、實際を見なければいくら本を讀んでも矢張り充分にのみ込めませんからね幸ひ一行は元氣で船の中でも盛に練習をやりました、關東の學生柔道界も今年に入つてから學生柔道聯盟の組織が相當充實して來ましたし各大學の對校マッチ開始の氣運も漸く力強いものになつて來ました、現在の對校マッチとしては慶應大學の豫科と早稻田高等學院の試合位なものですが、今後この種の試合が生れて來るにしたがつて日本の柔道界は一層進歩をするものと信じてゐます

一行は上陸後直に東洋旅館に入り午後四時半から滿鐵大連道場で大連の各有段者連と猛烈な練習を行つた

## 一行各地日程

一行の日程は左の如くである
廿日大連市中見學、廿一日旅順見學、廿二日奉天、廿三日撫順にて稽古および見學、廿四日午後ハルビン着見學後、廿五日ハルビン發奉天經由北平に到るその後濟山、南京、蘇州、杭州、上海等にて稽古或は見學を行ひ七日上海出帆歸途につく【寫眞は來連した早大柔道部員×印は德六段】

## 早大柔道部並に 三代議士歡迎會

早大校友會大連支部では十八日來連の宮澤、武谷、多田三代議士、十九日來連の早大柔道部選手の歡迎會を廿日午後六時より滿鐵社員倶樂部にて開催すべく會費金三圓申込は宮谷（電話三三九九番）へ

# 大相撲の準備
## 山科氏が來連

本年度の大日本相撲協會滿鮮巡業は既報の如く大連を振り出しとして行はれる豫定であつたが野球チーム來連の關係上協會では豫定を變更し從來通り朝鮮を振り出しとし大連興行を掉尾とすることゝなつた、また大連興業は滿鮮東京の如き方法を採ることに略決定、十八日着の旅客機で山科長之輔檢査役は諸準備のため着連した

## 日野厚氏來る

大倉陶園支配人東京高等工藝學校講師日野厚氏は十九日入港ばいかる丸で來連したが語る
廿三日から廿九日まで三越で陶器展覽會を開催します、その準備のために來たので六十點許り西洋食器の類を主として現代的な工藝品として立派なものを取揃へて來ました

▲用球　軟式野球協會ボール（但し三十八匁で體育堂の販賣せるもの）

『愛よ人類と共にあれ』
# 封切映畫會
上山草人歸朝記念主演 松竹特作現代劇二十卷

日時　二十一日夜七時　協和會館
會費　本紙讀者、倶樂部員五十錢（二十日午前八時から倶樂部事務所で前賣）
主催　滿洲日報社
後援　滿鐵社員倶樂部

# カフエーにも不景氣
## 一萬圓の店舖權利金は昔の夢 續々と名義の變更願

不況の嵐が馬耳東風に聞流しエロ時代の風潮に乘じて續出したカフエーにも新奇を追ふ尖端人の興味をいつまでもつなぐことが出來ず世間並に不況の嵐が浸潤して來た最近大連署管内のカフエー業者中經營困難を來してものが可なり多く經營者の名義變更を續々願出て來る、殊に連鎖街に出現したカフエーが優秀な女給を鍵ふて爭奪した結果大連署管内のカフエー街の客は殆ど大部分奪はれ濱速町、信濃町、若狹町などのカフエー中心街を初め場末に至るまで大影響を蒙りけふこの頃は全く火の消えたやうな寂れ方を呈してゐる、そればかりでなく當業者に取つて一番の痛事は權利金の大暴落で一店舖に一萬圓の權利金が唱へられたのは昔のことで昨今は二千圓乃至千圓が關の山、これは大連署の方針で新規出願に對しては大通り或は住宅區域を除き比較的寬大に許可を與へてゐることゝ、連鎖街に十數軒のカフエーが現はれた結果であつて一時全盛を極めたカフエー界にも自然淘汰の時代が訪れた譯である

鄉里河北省より就職口を求めて來連したが、適當な仕事もなく生活に窮した旬丁、活は妻の王氏たばしその金をもつて行方不明となり取り殘された王氏は孫三より虐待されるので遂にたまりかね王氏は十九日朝小崗子署へ保護を願出た

# 野球展覽會に 興を添へる
## 操り人形と運動映畫

本社主催の野球大展覽會は夜間も開場して散歩かた〴〵家族連れで觀覽出來るように特に毎夜九時まで開いてゐるが、殊に今晩からは初日以來大好評を博してゐる呼物の操り人形を臨時に躍らせることになつてゐるが、ルーフにては餘興としてスポーツ映畫の外漫畫其他數卷映寫することになつてゐる

▲サノシャン經營のルーフ喫茶店に於てもレコードを絶えずかけて入場者に退屈させない樣に大いに興趣を添へる

## 食慾不振の方へ
胃腸を害ひ勝ちは夏には、飲んだまゝ直ぐ吸收される胃袋いらずの「どりこの」をお奬めいたします

# すねに創持つナンセンス
## 飛んだ自首をして叩頭々々

十九日午前十時半ごろ眞蒼になつた若い支那人が小崗子署に飛び込みいきなり土下坐して「叩頭々々」を始めたので係官が驚いて調べたがたゞ額を土に打ちつけるばかりで一向に要領を得ないので司法室に引き入れて取調べたところこの支那人は數日前まで市内平和街一十番地某靴商に職人として雇はれて居つた孫德治(二三)といひ一週間前見習職工張寶延(二〇)に暴行したのが主人に發覺して解雇されたが、それが最近警察に知れて自分を逮捕するため搜査して居るとの風評があるから自首して來ましたと眞面目くさつて訴へたので流石の警察官も吹き出し「そんなことはないから一應歸つて居れ」と言つたところ孫、大喜びで「叩頭々々」しながら引きさつた

# 大陸軍
## 十八日ヨリ 大好評 大日活
肉の[illegible]

# 妻を買り逃亡

市内紫公街五一孫三方丁王氏(二七)は本年三月夫の丁徹活(二〇)と共に

## チエッコ五勝
### デ盃戰準決勝

【コペンハーゲン十八日發】デ盃歐洲ゾーン準決勝チエッコスロバキア對デンマーク戰は本日シングルスにチエッコ二勝したのでチエッコは五勝零敗にてデンマークを破り決勝戰にてイギリスと對戰することゝなつた

メンツエル（チ）六―三、六―二、六―四　ウオルム（デ）
ヘヒト（チ）六―三、六―一、六―三　ウルリツヒ（デ）

# 矢野文學博士

【東京十九日發】東日相談役文學博士矢野文雄氏は十八日午後八時逝去した、享年八十二

## 本願寺降誕會

若草山本派本願寺關東別院にては二十、二十一日の兩日親鸞聖人の降誕祝賀法要を嚴修するが廿日は午後二時より法要を修行して後祝賀講演あり夜は七時より大連放送局より聖誕の夕として諸種の放送をなし廿一日は正午より法要を始め百名の稚兒の行道、餘興、摸擬店その他素人書畫展、擬古展、生花陳列點茶、寶探し等各種の催しがある

## 夜間發火演習

大連第二中學校では十九日午後八時より同十一時まで廿日午前七時より同十時までと二回に亘つて沙河口水源地西北方一帶において發火演習を行ふと附近居住民は夜間の空砲に驚かないやう特に注意されたいと

## 墓地で縊死

十九日午前四時三十分ごろ市内青雲臺百三十五番地共同墓地のポプラ並木に麻縄をかけ縊死してゐる支那人を通行人が發見、取調の結果青雲臺十八番地錢貨商候長泰（四八）で原因は銀安に崇られ商賣不振を悲觀した結果と判明

## 天氣豫報
二十日
南東の風曇一時晴

滿潮（午前 零時三十五分／午後 一時十分）
干潮（午前 六時二十五分／午後 七時五十五分）

## けふの小洋相場（正午）
金百圓は二七二圓九〇錢



四男省吾儀兼て病氣の處本日午前二時死去仕候間此段御通知申上候追て明二十日午後二時途中行列を廢し常安寺に於て葬儀相營候
昭和六年六月十九日
父　池谷省三
兄　池谷龍夫
親戚總代　池谷佛次郎
　　　　　高橋忠男
總代　山田譲
友人　牛島蒸
總代　加藤眞利

# 暗流阿修羅館 (99)

生田蝶介　挿畫 藤井耕遠

蚊遣香（八）

「何だらう」

幸七は箸の手を止めて顏をあげた。

お嘉久は兄の顏を仰ぐやうにした。

「何處でせう。うちでせうか」

「さあ、遠いやうだ、うちぢやなささうだ」

「でも近いやうにも聞えますよ」

「ふム、籠り聲だな、何かの中に入つてゐる、第一何だらう」

「悲しさうに、苦さうに、訴へるやうに鳴いてゐますわ。犬のやうでもあるし、猫のやうでもあるし」

「さあれ、人間のやうでもあるし」

「何か他の變化ではないでせうか」

「子供のやうなことをいふれ。あゝ、やつぱり近いやうだ。うちか知ら」

兄と妹が頻りに、異樣な聲について評議してゐるのに、つい今しがた歸つたばかりの幸兵衞は、こくりこくりと居眠りをしてゐる。

「阿父さんはお疲れになつておいでだから、もう寢床を敷いてあげたらどうだ」

「あい、ほんに、私より兄樣の方がよく氣がつきますわれ、さうしませう」

「永い間だつたからな。無理も無いよ」

「ほんに、阿父さんでなければ出來ないことですのれ」

「それでは、私は氣になるから裏を一廻りして來るかられ」

「一人でいゝの、勝を連れて行つたら」

「勝も店で先刻から居眠りをしてゐた、可憐相に、皆さちがつて勝は年の少い割に二人前も働くからな。起さずにおいてやれ」

と云ひながら幸七が立ちあがりかけると、

「幸七、何處へ行く」

と、眠つてゐた筈の幸兵衞が後から聲をかけた。

「何だか裏で變な聲がするので……」

「變な聲？」

と耳を傾けて、

「うん、あれか」

「わかりましたか」

「何でも無いではないか、犬か何かにつながれてゐるので悲しさうに鳴いてゐるまでだ。家の裏では無い。見廻るほどのことは無いよ」

「さうでせうか」

「放つておけ、放つておけ。それより今夜は早く寢よう。あああ」

と何時になく幸兵衞は大欠伸をして、またすぐに、こくりこくりと始めた。

怪しい鳴聲はまだつゞいてゐた。夜が更けるにつれて耳にますますつくやうになるのであつた。

それから一刻ばかりして、戶締りをして寢についた。幸七もお嘉久も勝も疲れてゐたと見えて、それでも樣に氣になりながら、皆は間もなく眠入つてしまつた。竹の歸つて來たのも知らなかつた。竹は酒の氣があつたやうで、怪しい鳴聲なぞは耳に入らなかつたらしい。

八つ（午前二時）ごろになると、ヒーヒーと引いてゐた鳴聲がだんだん掠れて、やがてぱつたり止んでしまつた。

今迄よく眠込んでゐた筈の幸兵衞が、この時ぱつちりと眼を開けて、また眼をふさいでしまつた。

その翌朝は、幸兵衞は、よほど早く、まだあたりが暗いうちにそうつと寢床を拔け出すやうにして起きた。

彼は仕事小舍の方へ行くのであつた。

まづ樟切れをひらつて、外部から窓の紙をぶぶりと突き破つた。

それから板戶の方へ廻つて、戶に耳をあて、考へてゐたが、がちやりと錠を開けて、戶を二三度煽るやうにばたばたしてから中に入つて行つた。

再び出て來た幸兵衞は、右手に大きな犬の屍骸を逆さにしてゐた。母屋にまだ誰も起きない容子を

## 會券は二十日に

### 社員倶樂部で前賣り　『愛よ人類と共にあれ』封切會

久しくファンから待望されてゐた松竹蒲田特作品島津保次郎監督上山草人歸朝記念主演映畫「愛よ人類と共にあれ」前後篇二十卷は本社主催大連滿鐵社員倶樂部後援の下に來る廿一日（日曜日）午後七時から協和會館に於て封切會を開催するが、會費は一般七十錢、倶樂部員及び本紙讀者は五十錢で當日は日曜日につき明二十日午前八時から社員倶樂部事務所にて前賣券を發賣し座席券と交換するから二十日中に會券を求められたい、なほ倶樂部員は後援披ひたする

## 稗話

確めてから、川の方へ歩いた。

◇…今度は踊物花園歌子でありません、と御本尊から女漫談初見參の挨拶をして來たが、近く大劇に出演。

◇…常盤座には花園歌子に代つて神戶からキングジヤズフオリーといふレヴユウが來連する。

◇…「大空軍」は防空演習の好機に乘じ、例のごたごたが逆宣傳となり大日活でニヤリ。

## 本社特選 新棋戰（其一）

飛角交 飛車落番 八段 △花田長太郎　三段 ▲中村熊治

【圖は五四銀迄の局面】

▲中村氏 持駒 ナシ

| 九 | 八 | 七 | 六 | 五 | 四 | 三 | 二 | 一 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 香 | 桂 | | 金 | 王 | 金 | 銀 | 桂 | 香 | 一 |
| | 飛 | | | | | | 角 | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | 歩 | 銀 | | 歩 | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | 歩 | 歩 | | | | | | 六 |
| 歩 | 歩 | | 金 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
| | 角 | 金 | | | | | | | 八 |
| 香 | 桂 | 銀 | | 玉 | | 銀 | 桂 | 香 | 九 |

△花田氏 持駒 ナシ

△七六歩　▲三四歩
△六六歩　▲六四歩
△七八金　▲六二銀
△五八金　▲六三銀
△六七金右　▲五四銀
△六八銀　▲六二飛
△五六歩　▲六五歩

【萩原六段解說】飛車落に於ては下手は居飛車で引角模樣に指す力戰主義と、六筋飛車で攻める指手の何れかを用ひる場合が多い。其他にも力指しの指手もあるが、この二つの指手が下手としては有効である。然してこの六筋よりの攻め手は六五歩の開戰の時機が大いに勝敗に影響するし、又上手に色々の手段がある故餘程定跡に精通して居なければ用ひるべきものでない。花田氏の六六歩は角の交換は上手に隙が多くて不利であるから交換を避けたのである。中村氏の六四歩は所謂六筋飛車の戰法で、角の交換を挑み飛車の威力を以て强襲せんとする企みである。花田氏の五八金は普通六八銀と指すのであるが、變化を求めて特に此の法を用ひたもので、何れを用ひても上手としては趣向で善惡云々と言ふ所でない。中村氏の六五歩はこの上手の陣容に對しては當然の攻擊である。上手が五六歩の處で七七銀なら七四歩と徐ろに指すのである。故にこの七七銀と普通七七桂留の外は、下手は直ちに六五歩と開戰するのが有利である

筋は極めて安全なるも、餘りに片寄りすぎて妙味に乏しいと思ひ、態と五六歩と突き、敵に六五歩と仕掛けさせたのは局面轉換の一方針である▲この時中村君は敵陣の防備が嚴重になつては攻勢を執る事が出來なくなるから、未だ不備の機會を利用し六五歩と開戰したのは至當の對策である。

【土居八段講評】△花田君は五六歩の處七七銀と指さば、六

## 愛よ・人類と共にあれ米國篇

## 大連 JQAK

六月二十日

▲午後四時十分　實滿第三回戰連絡放送
▲午後七時三十分　聖誕の夕
▲ニユース
▲挨拶　福永布教使
▲講演（長生不死の神方）　西脇布教使
▲宗教歌（眞宗々歌）　滿洲佛教女子青年會員
▲降誕の歌　大連本願寺日曜學校生徒
▲童話劇（いのちの光）　同右
▲讃佛歌（御のみ言）　滿洲佛教女子青年會員
▲同（み佛のこゝろ）　大連西本願寺日曜學校生徒
▲童話劇（降誕の前夜）　同右
▲讃佛歌二部合唱（春）　滿洲佛教女子青年會員
▲音頭（靜まつり音頭）　同右
▲閉會の辭　福永布教使
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項
▲料理献立
▲天氣豫報

## 東京 JOAK

六月二十日午後六時廿分

▲趣味講座　國性爺合戰　場景「甘輝館の場」（配役）甘輝 錦祥女（坂東秀調）和藤内 母（中村嘉門）甘輝家臣 錦武英（坂東旅藏）楊泰鐵（中村歌五郎）和藤内（市川龜藏）其の他 竹本連中、太夫 竹本一登太夫、三味線 豐澤重次郎、長唄囃子連中、杵屋榮藏▲地唄（大阪より）三ツ山、三絃 萩原松吟、箏 峯内秋子▲合唱と管絃樂（一）歌劇マダンノ射手「アエバー作」（二）男性合唱「伴奏なし」（イ）船路「メンデルソン作」（ロ）ローレライ「ジルヘル作」（三）歌劇「惡魔」舞踊曲「ルービンシユタイン作」（四）男性合唱（イ）カルメン鬪牛士の行進（ロ）トラバーレカジノ合唱（五）フアウスト圓舞曲、合唱オリオンコール、東京ラヂオオーケストラ、指揮 篠原正雄

……▲ポーラ・ネグリが巴里で英語を勉强して今度RKOパテー社に入社し再びスクリーンに歸り咲いた

……▲日本でも本格的な廣告映畫熱が擡頭し「チヤコロン」で二卷物の「へちまは踊る」を製作上映して好評を博したが、近、森永でも漫畫で面白い廣告映畫を撮り、常設館とタイアツプで益々發展するらしい。

……▲永らく右太プロにあつた古海卓二監督はこの程同プロを退社した

……▲衣笠貞之助監督の第二回作品は文化發達の過渡期を描いた海洋時代劇を製作。

## 愛よ・人類と共にあれ（上）

### 試寫を見たまゝ

◆…松竹蒲田が全能力を發揮して製作して純特作品として主演者の上山草人歸朝と共に一ケ年に亙つて大宣傳をした映畫である、さて試寫を見てこの一篇は村上德三郎の優れた脚色と、その良きシナリオを得た監督島津保次郎の如何にも大家らしい風格を備へた手法と、上山草人の主演者をはじめ松竹蒲田の幹部俳優を殆ど總動員した贅澤な配役陣とが揃つて堂々二十卷の大作品となり、ガツチリとした大物の品格を持つた傑作となつてスクリーンに躍動してゐる。

◇…物語は紙數その他で既に充分紹介されてゐるから省略するが村上德三郎は蒲田のスター總出動の下にそれぞれ役を振り當てたことの尨大なストリイの構成は實によく纏め上げてゐる、主人公山口綱吉の主演とそれに交錯する息子の眞弓と雄との交渉、次から次へ登場する多數の人物の取扱ひ方を眞正面から押して行つた巧な筋の運びは二十卷の長尺物に倦怠を與へない、そして最後の父子の愛の物語へ追ひ込んだ手際は一見平凡なやうであるが、その主演たる山口綱吉を終始一貫して活躍させたところ賞讃さるべき脚色振りを示してゐる。

◆…監督の島津保次郎はこのシナリオを得て、これまた眞正面から四つに組んで押し切つてゐる、彼の良き傾向をこの一篇に打ち込んで流石に老巧の冴えた腕を誇つてゐる、前半山口の性格を彼の家庭を彼の息子を描くために、さうしたかに見える手法が後半果然ピツチをあげてグングンと伸びてクライマツクスへの素晴らしい飛躍によつてこの大作を完成してゐる。

『愛よ人類と共にあれ』封切映畫會 讀者優待券（此券持參者に限り五十錢）主催 滿洲日報社

『愛よ人類と共にあれ』封切映畫會 讀者優待券（此券持參者に限り五十錢）主催 滿洲日報社

# 滿鐵關係關稅諸問題を一括、支那側に交涉

## 特殊權益保持上、看過出來ずと

### 輸入稅拂戾協定廢棄問題

昨夕飛報所報明治四十二年滿鐵と支那政府との間に締結された滿鐵線經由歐洲向通過貨物に對する輸入稅拂戾しに關する協定廢棄問題は滿鐵には木村交涉部長上京前に通知があり交涉部に於ても對策研究中であるが、現在滿鐵と東支鐵との間には滿洲里向の貨物聯絡無く滿鐵線經由の通過貨物は極めて少額であるから本問題は實質的には滿鐵への影響は殆ど無いが、特殊權益保持の主義上看過出來ないものとして滿鐵關係關稅諸問題と一括して支那政府と交涉することになる模樣である

運賃引下問題につき滿鐵側では東鐵が自發的に南部線の極めて不合理なる運賃を改正しない限り右の交涉の如きは問題にならないと一笑に附してゐる

# 國民政府 甲板積荷に今度は課稅

## 大連港出入船舶の大部分に影響なし

關稅自主權を獲得した支那政府は最近矢繼ぎ早に關稅立直しを行つて積極的關稅政策に出てゐるが、その一例として去る九日國民政府は來る七月一日より「デッキカーゴーに對しても噸稅を課す」旨の布達を各稅關に發し、この程大連稅關宛にも同樣到着した、卽ち從來各支那港に於てデッキカーゴー(甲板積荷)に對しては

海關は噸稅を免除して來たが、今後これに對しても課稅されることゝなつたので、從來魚類や果物などデッキカーゴーとして輸送されたものに對しても上海青島その他各支那港において全部噸稅を徵收されることゝなり可成りの打擊を與へてゐる、併し大連港においては噸稅は大部分海務局の所管するところであり、大連稅關の扱ふものはインランドスチーマー(支那不開港場大連港間の船舶)のみであるから大連港出入船舶九割八分通りは何等この影響を受けることはない、しかしこの布達を關東廳告示として公布するについては

法規上の疑問があり目下關東廳に於いて愼重考究中である、因に昨年中の大連稅關噸稅收入は三千五百五十五海關兩で、これに對して幾分のデッキカーゴー噸稅收入增加されても殆ど算ふるに足らぬものである

# 山下、國際兩汽船にも納稅を要求

## 會社側は滿鹽の積取中止か

ソウエート政府は產業の各部門にわたつて五ケ年計畫の完成を急いでゐるがこれがために財源の捻出に腐心し、さきには自國の貨幣價安定を理由に鮮銀支店の追拂ひを計畫し、これに成功したのに味を占め今度は外國船の課稅を企て、さきに浦鹽港のドイツ汽船ブレンネルに課稅したのを手始めに山下國際兩汽船會社にも十萬金留の納稅を要求して來た、これに對する汽船會社側の態度はなほ不明であるが、浦鹽の積取りを中止するやも知れぬ、ソウエート政府は場合に依つてはソウエート商船隊をして特產其他の輸送に當らしめんと計畫してゐるが、商船隊の現在の船腹では到底外國船に代ることは不可能なりとされてゐる

# 東鐵の運賃引下げと滿鐵

【ハルビン十八日發】東鐵滿鐵の

# 洮南稅捐局

## 營業稅從價二分賦課

### 移出貨物に對し

洮南からの情報によると同地稅捐局は移出貨物に對して營業稅從價二分の課稅を實施し鐵道にて四平街に出る分は發送每に、その他の方面は移出・る場合には月末に纏めて徵收すると何れも五月一日にさかのぼつて賦課すると

# 鮮銀業績概して良好

## 四分配當据置か

【京城特電十八日發】朝鮮銀行の今期營業成績は概して良好にして

# 豆信重役會

## けふ開催さる

豆信會社では十九日午前十一時より同社において重役會を開催、減資決定による株買入れの件及び東上中の出村專務よりの情報等によ

普通營業は前期と大差はないが、內地及び外國の金利安により爲替率が好轉したこと卽ち米國においては最高七分の金利から最低二分に低下した狀態であり、また內地の金利と當地の金利率との關係が內地金利緩漫から鮮滿に潤つた事および有價證券の値上りにより巨額の利益增となつたことが主なる原因で、前期より相當好成績の見込みで四分配當据置は當然と見られてゐる

# 混保大豆格付の實情說明

滿鐵の混保大豆檢査係では十八日午後二時半より取引所、上會議室に特產三團體關係者を招き混合保管大豆見本品によりて混保檢査の格付の實情を說明しこれに對する關係者の意見を徵する處あつた

# 扶餘方面からの河豆積出活況

松花江の河豆は最近ボツ／＼出始め旣に約七萬噸を出したが最近の情報によれば昨今ハルビン、扶餘老少溝間の船舶往復が開始され扶餘方面からの河豆積出が相當活氣を呈して來たと

# 調節費問題を滿烏代表下交涉

【ハルビン特電十九日發】十八日の宇佐美、ビール兩氏の會見は滿烏協定そのものには觸れず、昨年秋以來折衝を重ねたが一致せぬため今年初め以來中絕の形にあつた調節問題に關するもので、雙方座談的に下交涉を行つたが烏鐵長官チツツベルコフ氏は本月五日以來モスクワに赴いてゐるのでその訓令到着次第正式交涉を開始する筈烏鐵は滿鐵が現行比率の改訂に應ぜぬこと、さりとて協定を廢止すれば自由競爭となり損害多大なることを感じ協定は繼續する意嚮らしく調節費を設定して東、南行を平均せしめ今年の如き莫大な拂戾し金による損失を免れんことに決したものらしい

# 補償金十萬五千圓トテも應じられぬ

## 田中市長の通告に卸賣人組合が役員會で意見を纏む

大連中央卸賣市場の改善に伴ふ補償金額は過般の臨時市場委員會で最高十三萬四千圓と決定、この範圍內に於て善處すべきを田中市長に一任された事は旣報の通りであるが右に關し田中市長は北支那青果會社を除く卸賣人組合員三十二名の補償金額を十萬五千圓と算定し十八日午後一時先づ滿部組合長を招致し祕かに折衝するところあつた、同組合員である北支那

青果會社を切り離した事は他の組合員が右折衝に應諾した場合自然追從し來るを豫想しての策意らしきも、滿部組合長は組合當初からの聲明が北支那青果會社を包含し三十萬圓であるに比し餘りに隔りの相違甚だしきに依り一應組合員に諮る旨をつげ卽答を避け退出したが、組合側では十九日午前十時から敷島町青年會館で役員會を開き滿部組合長から右市長からの交涉顚末を報告しこれが對策につき協議するところあり大體に於て十萬五千圓では應じ難しと意見の一致を見更に來る廿一日前記場所に

**臨時總會**を招集し組合員の總意を取纏める事に決定正午散會した、一方田中市長は組合側に右補償金額の交涉を開始すると同時に市營單一制改善に伴ふ規則の草案中であつたが大體に於て成案を見たので二十一日組合側の返答を聽取し、二十二日午後二時から臨時市場委員會を招集しその結果を報告し更に市場規則に就て諮問する筈である

# 豆粕飼料化懇談會

## 滿鐵が東京で

行詰れる豆粕販路の打開策の一として內地農村における豆粕飼料化運動は數年來重要物產組合方面で着手しつゝあるもので、滿鐵殖產部においても輸出助成の見地から昨年來種々これが實現促進のため援助をなしてゐるが、來る七月六日より八日まで三日間東京に於て開催の農林省各府縣畜產主任會議を機として滿鐵主催で豆粕飼料化の一大懇談會が開かれることゝなり滿鐵東京支社では本社と聯絡をとり着々準備を進めてゐるが、右懇談會は農林大臣はじめ次官、畜產局長並に各縣より出席の畜產技術者二百餘名に對し鈴木梅太郞博士その他內地一流の權威者が有畜農業と飼料問題の重要性、豆粕飼料化運動の紹介等の講演をなし、その援助を求めんとするものである、滿鐵側より農務課佐藤調査課主任が多分派遣される筈で重要物產組合方面に對しても目下出席方を勸誘中である

# 豫想外、特產が大連に來ぬ

## 官銀號筋の手持ちで

### 滿鐵々道部での觀測

鈔安その他の影響を蒙つて今期における特產出廻りは頗る振はなかつたので、かへつて貨物の輸送が平均するだらうと見られてゐたが事實はこれに反して夏枯期には早いにもかゝはらず特產貨物の輸送ははか／＼しからず一日七十車程度である、右に關して滿鐵々道部の觀測によれば昨今官銀號が盛んに策動し始めたらしく開原、公主嶺方面で買占めに着手してゐる利達公司の如きも官銀號系統であることが明かとなつた、北滿からは河豆もボツ／＼出始めてゐるのにさつぱり大連着荷がないのはこれ等官銀號筋が相當手持ちしてゐる結果だと思はれる節があると

# 大連の建築界

## 五月中の狀況

大連市における五月中の建築狀況は許可二百四棟、建坪五千五百三十坪、工費概算八十一萬四千三百八十圓であつた、これを前月に比べると棟數六十八棟、一千四百十三坪、三十三萬八千二百圓といづれも增加してゐる、前年同月對比は二十六棟、二百九十八坪を減じたが、工費は却つて五萬九千五百六十六圓を增加した、次に五月中の竣工は四十四棟、一千二百三坪二十一萬四千三百三十五圓にして前月に比べ三十三棟、六百十九坪十一萬三千百六十圓を增加したが、前年同月に比べると十棟を增加したるも三千百六十二坪、百二十五萬三千百六十五圓の激減を示してゐる、しかして前月に比べ出願、竣工とも增加したのは建築季節に入つたためであり、前年同月に比べ著るしく減少してゐるのは財界不況が深刻に反映してゐるものである

# 端午節と各地市場

二十日は支那側端午節につき左の如く各地市場は休會すると

| | | | |
|---|---|---|---|
| 大連 | 二十日(五品株式除く)全休 | | |
| 奉天 | 十九日 | 二十日 | 同 |
| 開原 | 十九日 | 二十日 | 同 |
| 四平街 | 十九日 | 二十日 | 同 |
| 公主嶺 | 十九日 | 二十日 | 同 |
| 長春 | 十九日 | 二十日 | 同 |
| 安東 | 二十日 | | 同 |
| 上海 | 二十日 | | 同 |

# 森永滿鐵社員急遽赴哈す

滿烏協定の繼續問題は目下ハルビンに於て宇佐美滿鐵哈爾濱事務所長と東鐵代表とが交涉中であるが滿鐵々道部聯運課の森永第一係主任は本問題のため十八日夜急遽赴哈した

# 黄塵

◇…問題の多い點において有名な錢鈔信託會社の總會が近づいた、議題が重役改選だけに最近種々な策動が行はれ山雨正に臻らんとして風樓に滿つの概がある。

◇…ところが錢鈔取引人側では從來のやうに一部大株主だけで信託の首腦者を勝手に人選することは不合理だ、市場の中心をなしてゐる取引人の意向も尊重すべきだといふ要望が起つてゐる

◇…そしてこの主張を貫徹するため組合で錢鈔株を買つて取引人側の持株を殖やし大いに權利の主張をやらうといふ計畫もあるさうだ。

◇…手數料問題も未解決の折柄取引人が信託重役の人選を重要視するは當然のことであつて株主側も又一部大株主の專制に委せず取引人と協調して眞に市場のために計る人を選ぶことが常道だ。

◇…權謀術數を事とする暗中飛躍はもう旣に過去の遺物だ、これからの重役の人選は明るく合理的にやつて欲しいものである。

# 滿洲市場総まくり

## 五品取引所

### C記者 (三)

# 華やかな誕生から資本半減の大手術まで

五品取引所の創立から最近までの營業狀況をみるに、第一期卽ち大正九年三月十日から同月末日まで營業日數十八日間、時恰ら內地における財界逆轉の影響を蒙り、五品株は三月十一日新市發會において百六十五圓六十錢と生れたが爾來漸落步調を辿つて、二箇を出でない月末には…圓五十錢との大暴落を示すなど、設立直後より波瀾重疊ともいふべき道程を辿つてゐる

◇

尤も五品は創立當初、二百四十五萬圓のプレミアム收益あり、これを大部分社內に保留したので、慰市當初から財界の變動によつて、打擊を受けながらも、資產內容の充實によつて相當の收益を擧げ、大正九年度は拂込資本金に對し一割七八分の收益を計上し一割六分の株主配當を行つてゐる、そして

大正十年には所謂中間景氣の出現によつて、取引は殷盛を極め、同年下半期の如きは純益金六十萬圓の巨額に上り、株主配當も年四割といふ高率な配當を行つたのである、恐らくこれが五品の黃金時代であつたらう

◇

然るに其後財界の不況が深刻となるにつれ、市場は漸次衰退の一途を辿り、十三年の下半期は遂に無配當に陷り、次いで十四年の下半期には遂に第一回の整理を斷行するのやむなきに至つた、昭…

…卸百五十五萬二千圓、所有々價證券消却四十一萬圓、什器償却三萬餘圓、合計百九十八萬二千餘圓の損失を計上した、卽ち創立當時のプレミアム收入の大部分を失つてしまつたわけである

◇

爾來五品の業績は全く不振に陷りたま／＼昭和二年の下期に卅九萬三千圓の利益を計上してゐるが、これは前記切り捨勘定中の有價證券賣却によつて生じた收益が大部分を占めてゐるので、これによつてその後營業收益は殆ど經費にも充たぬ程度であつたに拘らず大正四年の上半期までは年五分乃至六分四厘の巧妙な配當をつゞけ得たのである、もつとも此間理事者としては東京市場における五品の短期上場、鈔票市場における麥粉の上場、營業所の新設等種々の市場振興策やら人氣更新策やらを講じて來たが、これ等の人爲的政策は一時的人氣の作興はみせたとしても總て徒勞に歸し、しかけばしかく程五品はその衰滅の淵を深くするといふ狀態であつた

◇

更に五品は創立當初から根本的の市場繁榮策として大連取引所の民營合併或は錢鈔信託會社の合併を企圖し數回にわたりこれが運動を行つたが悉く失敗に歸し、殊に昭和四年の夏における最後的錢鈔信託合併運動の失敗は五品をして致命的の創痍を蒙らしむるに至つた

この間理事者は五品の地位を有利に導くため二三年間にわたり五品株の市價維持その他に人爲的策動を行つた結果、遂に六十萬圓といふ大穴を生じこれがため五品は減資にする根本的の大整理を行はなければならない破目に陷り、昨年夏の臨時總會において一千萬圓の資本金は五百萬圓となり二百五十萬圓の拂込金額は百廿五萬圓と資本半減といふ外科的大手術を行つたのであつた(寫眞は株式の立會)

# 市況 (十九日)

# 特產

## 品薄と買氣で豆と粕强調

今朝の定期は差したる材料が大豆と豆粕は品薄の折柄買長に刺戟せられて强調を示した

# 錢鈔

## 標金高に鈔票軟弱

# 市場電報

## 銀塊及爲替

## 棉花

# 株式

## 內地株引安五品保合

# 商品

## 麻袋變らず綿糸低落

# 貨物在庫頭埠 (6月15日)

(明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可)

# 滿洲日報

# 臨時行政審議會官制 けふ官報を以て公布

## きのふ閣議で大綱決定

【東京十九日發】十九日の定例閣議は午前十時開會臨時行政財政審議會官制に關する件を可決したる後渡邊法相より減俸不承諾判事は全國にて百四十名で之に對しては來議會に法律案を提出する外なき旨を報告、次いで小學教員年功加俸の減額につき協議大體諸加俸は減額せず次の加俸増額より多少の減額を爲し既に年額百圓を受くる者に對しては四分減とし漸次百圓以上の者に對してその率を增加する事を決定し、次いで二つ以上の俸給を受くる官吏及待遇官吏に對しては嚴に實行せる減俸率に準據して之を減額するに決し正午散會した、なほ臨時行政財政審議會官制は直に上奏御裁可を經て二十日附官報を以て公布し同時に委員の任命を行ふ筈

### 官制の要綱

右官制の要綱左の如し

一、本審議會は首相の監督に屬しその諮問に應じて行財政整理につき調査審議す

一、會長一名、委員九名を以て組織す

一、會長　總理大臣

一、委員　大臣三名以內（江木、安達、井上）內閣書記官長、法政局長官、學識經驗ある者四名以內（片岡直温、富田幸次郎、賴母木桂吉、中村啓次郎）右學識經驗ある者四名は親任待遇とす

一、幹事長　川崎翰長

一、幹事　黑崎法制局參事官以下七名

### 日銀、正金 重役減俸 自發的に實施

【東京十九日發】日本銀行、正金銀行では政府の意を體し今回自發的に減俸する事となつたが範圍は重役に限られ一割減で七月一日より實施するに內定してゐる、之は他の特殊銀行會社にも波及するものと見られてゐる

### 減俸實施期

【東京特電十九日發】大藏省から日銀、正金、興銀、勸銀、鮮銀、臺銀及び北海道拓殖の各銀行、滿鐵、東拓兩會社に重役の減俸を交渉の結果何れも承諾したので本月分より實施する事となつた

# 二億五百萬圓節約

## 與黨の財政整理案內容

【東京十九日發】民政黨は十九日午後財政整理委員會總會を開き各小委員會の調査せる原案につき協議の結果陸軍々費、賞與、旅費、日當、繊維費、物件費、地方財政については審議を了し殘りの恩給並に省局課の廢合については二十日審議を續行することになつたが右財政整理案によれば國務のみで二億五百餘萬圓を節約し得ることになつてゐる、斯くて委員會案作成の上は二十三日の緊急政務調査會に附議し次いで二十四日の政府の行財政整理準備委員と與黨幹部の懇談會に與黨案を提示しこれが實行を協議するはず

# 東北派は依然 消極的態度

## 時局根本方針を決定

【北平特電十九日發】王樹常氏は昨日張學良氏の枕頭に朱光沐、鮑文樾氏等を集めて東北の時局に對する根本方針を凝議した、その內容は秘密に附されてゐるが先づ現狀を維持して張學良氏の回復を待ち石友三軍に對しては絶對車轍を起さゞるやう消極的態度を執る事に意見の一致を見たもの、如く察するに東北側は依然として消極的現勢維持以外何等特殊の意圖を有せざるもの、如く已むを得ざれば現勢維持のため關外に撤退すべく入關以來の既定方針に變りはないものと觀測する

### 韓石兩軍 攻守同盟

【北平特電十九日發】韓復榘氏代表王與懇氏は最近張學良氏の病氣見舞を名として來平したが、その要務は新らたに出動した奉天軍の行動を探知せんとするもの、如く秘に各方面と聯絡を執り活動を續けてゐる一方汪精衞氏は有力の腹心を派して北方實力派主として石友三氏等と連絡を執り且體的反蔣運動を進めてをり石友三氏とは昨年來關係を保ち信書を送つて蔣介石氏の罪狀を數へて速かに反蔣行動に入る事を慫慂してゐる模樣である、又石友三、韓復榘兩軍は軍事勃發の際は互に相助けてその地位を保全する攻守同盟が出來てゐるといはれてゐる

# 廣東政府は早くも 分裂の危機に直面

## 左右兩派の軋轢から

【廣東十九日發】廣東政府部內に醸されてゐた左右兩派の軋轢漸く表面化し李宗仁、張發奎、許崇智、李福林諸氏は既に廣東を去り香港にあり、左派の汪精衞氏や廣東中心主義の陳濟棠氏らに反對の態度を表明してゐる、政府當局は右の事實を極力否定してゐるが、政府要人連が貴重品を臺灣銀行に預け廣東を逃れつゝあるより見て兩派間に相當深き溝が出來たこと蔽ひ難く政府は早くも分裂の危機に當面しつゝあるもの、如く昨日來市內は謠言盛んである

### 學良は近く 記者と會見

張學銘氏語る

【北平十九日發】昨日午後張學銘氏は張學良氏の近狀につき左の如く語つた

學良の容體については種々謠言が行はれてゐるので此等の流言を一掃するため學良は近く記者團と會見する豫定である、又東北軍の關內移動は防備を嚴重にするためである

### 米公使に 顧維鈞氏

南京政府起用說

【南京十九日發】政府筋の情報によれば駐米公使伍朝樞氏の廣東派加擔公使辭任に對する後任として は顧維鈞氏の起用說有力で近く正式に任命さるべしと傳へらる【寫眞は顧氏】

### 作霖氏三周忌

故張作霖大元帥の三周年忌祭典は小南關の關羽廟で盛大に執行することに決定した、廿日は敎育廳關係の各學校生徒、軍人團體が參拜し、廿一日は午前八時半から省政府委員、公安局、官公署、軍人、講武堂學生其他文武官代表が參列し正午から二時までは一般外國人の參列あり、祭主は若し張學銘氏が歸奉せれば張學曾氏か張作相氏が立ち祭典執行委員長は榮臻參謀長、祭詞は周氏が朗讀することになつてゐる【奉天電話】

# 剿匪善後策宣傳

## 蔣氏出馬に先立つて

【南京特電十九日發】蔣介石氏は江西出馬に先立ち行營政治訓練處をして剿匪善後宣傳大綱とゝもに兵士に告ぐるの書、地方紳士に告ぐるの書、幹部軍人に告ぐるの書、ソウエート區域の民衆に告ぐるの書、農民に告ぐるの書を夫々發表し大いに宣傳に努めてゐる、その中幹部軍人に告ぐるの書には今日までの共產軍討伐に當つて一方が進んで戰ふも一方は傍觀して助けず結局ともに敗戰を招く事が多かつた討伐軍の統制連絡なき事を暴露し今後は連絡統一を執らん事を計畫してゐる、ソウエート區域の民衆の書中には討伐軍到らば內部より內應せよ、若し此努力を爲さざれば一束として討伐せられるを覺悟せよと計畫してゐる、農民への書も同樣で農民の自衞隊組織を勸告してゐる

# 上海の佛租界回收 交渉愈よ成立

## 地方高等兩法院設置

【南京特電十九日發】上海佛租界の法權回收問題交渉は十八日佛支兩國間に草案成立し双方の調印を待つて愈々回收される事となつた協定內容は

一、佛租界に支那の制度による地方並に高等法院各一個所を設け支那の法律を適用す

一、裁判官は支那政府より任命す

一、外人辯護士は司法部に辯護士司法證を要求する事

などである

### 三井信託八分配當

【東京十九日發】三井信託では十九日株主總會を開き今期決算案（株主配當年八分）を可決した

### 一億圓の 財源捻出

主計局で調査

【東京特電十九日發】大藏省主計局では目下連日會議を開き全體で約一億圓程度の財源を捻出するためあらゆる費目につき詳細調査を重ねてゐるが物件費の整理に關しては繼續費等を除いて約三億餘萬圓を基礎に此內約一割即ち約五千萬圓を目標として順次各省との折衝を爲すこととなつた

### 滿蒙事情を 米國に紹介

【東京特電十八日發】笠井重治氏は...今秋、米國ボストンのアト大學の招聘を受けて「日本の極東政策」...一ケ月間講演し、次いで...大學その他においても同...

# 日本の綿糸布も ボイコットせよ

## ガンヂー氏意見發表

【東京特電十九日發】ボンベイ十八日發電によると全印國民會議派首領ガンヂー氏がヤングインデアン紙上に英國綿糸布をボイコットすると共に日本品をもボイコットすべしと說いた事は關係業者の間に非常なセンセーションを起し日英兩國人の質問頻繁に來るので ガンヂー氏はこれに答ふべく同日再びヤングインデアン紙上に左の意見を發表した

幾十萬の印度民衆に最も重大關係ある經濟的見地より綿布のボイコットも肝要な事である、それによつてボンベイ紡績會長が受けた書翰によれば...英國綿布ボイコットたる間に印度へ進出した高は益々增加しつゝ...逆比例して英國の輸...た我々は英國綿布を...のは意外にも日本綿...とに注目する必要が...

### 墺國英對借款

【パリー十九日發】歐洲大戰以來最大の財政的危機に直面しつゝあるオーストリア政府は英國政府との諒解なり臨時借款七百五十萬磅を英蘭銀行より融通を受ける事となつたが右は英獨兩國政府巨頭のチエカース會商に端を發する獨墺對英の新らしい接近傾向の一具體化と解せられフランス新聞は異常の注目を拂ひ始めるに至つた

### 張宗昌氏代理赴奉

二十日奉天にて擧行の故張作霖氏三年忌に旅順滯在中の張宗昌氏は大連居住の元山東省長であつた林憲祖氏を代理として赴奉せしむるに決定、林氏は十九日夜大連發赴奉した

### 張宗昌氏の 豪遊ぶり

別府滯在中の

旅順老虎山麓に起居してゐる豪勇張宗昌將軍が去る十日別府を引揚げて來た際同地の止宿先昭和園の主人原勝氏が隨伴して來たので張氏に勸められての物見遊山かと思...たがどうしてそこには意味深い理由があつた、何...在中の將軍の豪奢振は...時代氣の強い者だつた...して仕舞ふ程で、張氏...月間に費消した金額は...つて約四五十萬圓に上...回に亘つて支拂つたが...發の際支拂の殘額四五...たのでそれを受取りの...附爲となつて來たのだ...のプロが逢坂町から馬...たのとは違つて何の...不安なく可愛い息子の歸...の老母張俊氏の手から...和園主は大喜びで歸り...劉智銘君は整理のため...別府へ赴いたさうだ、...て來ました、こんどの支那旅行は約五週間の豫定です

### 不景氣を喞つ

安田大汽社長

何といつても現金五萬圓の回收は近頃景氣の好い話

例によつて「一寸內地の空氣を吸つて勉强してくる」と先月十三日上京した大汽社長安田柾氏は十九日入港日はいかる丸で歸連したが語る

こんどこそ御土產話は無い、不景氣だ、全く不景氣でこの先どうなるかなぞと考へると心細くなる、一寸好轉したと思はれた海運界も今ぢやまる切り駄目だ、こんな風だとどうしてももつと勉强して萬一の事があつても大丈夫な丈の心のゆとりを作つておく必要がある、總裁內田伯とは十五日の朝、江口副總裁とはその前日御會して來た、どちらも內地でも非常に評判が好い樣だつた、滿蒙問題に就き日支間の問題が色々喧しくいはれる折柄たしかに好い人が來たと信じる、阪神に四五日、それからずつと東京だつた、矢張り時々あちらに行く事は必要だよ好い商賣でもしてくれば喜んでお話も出來るが今度は全く駄目さ

### 學位令問題

拓相、翰長協議

【東京十九日發】閣議散會後原拓相は川崎翰長と植民地學位令の櫂府における反對論につき對策を協議した

### 遞信省異動

【東京十九日發】今井田次官の轉任に伴ふ遞信省內の異動は十九日の持廻り閣議で左の如く決定した

任遞信次官　經理局長　大橋八郎

任經理局長　電氣局長　富安謙次

任電氣局長　大阪遞信局長　淺野平二

任大阪遞信局長　仙臺遞信局長　香西俊雄

任仙臺遞信局長　官房秘書課長　高妻直道

# 厚さ八吋の氷底を 突破り浮上る離れ技

## ノーチラス號設計者 サイモン・レイク (2)

この申出を僕の皮肉な教授は拒絶したが、他の人々は何れも快諾した、一行中には同大學の彩讃長ギルマン博士も混じつて愈々チーサピーク灣に在る余のアルゴノート號を見學に出かけた、余は同艦を潛航させたり、潛水夫を艦の底から海中に出して海底を歩かせたり、それから又艦内に引返へさせたりした、然もそのために潛水艦には全然水を入れずに濟むことを實驗して見せたのである

◇……◇

余は又潛水艦プロテクター號を設計したが、同號は成功と共にロード・アイランドのニユーポートで試運轉を行ふことになつた、一九〇三年の冬のことである、ナラガンセット灣には氷の一つぱいに張り詰めてゐた、試驗潛航の衝に當つた米國海軍當局は、シルフ號を試運轉の母艦として使用したシルフ號は長さ百二十三呎、强力なエンジンを備へてゐるが、潛水艦プロテクター號は長さ僅に六十五呎シルフ號に比べればエンジンも非力なものであつた、然るにシルフ號は浮氷群に包まれ暫し立往生の已むなきに至つたのに、プロテクター號は何の苦もなく浮氷の間を航行したのである

◇……◇

次で余は陸軍省に對しても同樣の試驗を申出でた、陸軍省では當時の海岸防禦に使用しようといふので余は招かれて暫くロシアに赴くことゝなつた、お陰で余は氷の張り...

### 星ケ浦の客（七）

「あなた、あなた」

朗子は、廊下に出て夜空を仰いでゐる夫の背後から呼びかけた「……」「知つてゐるちやありませんか」

...

「ばかなこといひなさい」

駿逸は輕く否定した。が、駿逸自身も、運平が妙に恐ろしかつた。突然、あの光榮を伴つて來たことが、駿逸に取つては徹底的な脅威であつた。もしそれを運平が知つての上なれば、彼こそ、自分の一家の惡魔的な破壞者なのだ！

...

そして朗子はじつと夫の橫顏を眺めた「でも兄はどうしてあんな娘をつれて來たんでせう？」

駿逸はそれには答へなかつた。光葉の素性はその答へによつて明らかになるからであつた。

「あなた……」

と朗子は、まだ廊下に佇んでゐる夫に呼びかけた。

「何だ？」

「私、今日來た兄が、何だか私の一家を滅茶滅茶に攪亂するやうに思はれますわ……」

# 光に立て（7）

中西伊之助

山口みづき畫

### 壹萬圓の貯殖秘訣公開

「お金はこの世の廻り物…」ではあるが、寢てゐて果報は廻つて來ない「富士」七月號には誰にも出來る一萬圓貯蓄の秘訣を發表！到る處凄い人氣大評判！

# 家庭

## 司令塔の釦一つで 機械能力を遺憾なく發揮 驚くほか無き甘井子埠頭の施設
### 滿日婦人團見學案内

よく晴れた日、南山麓あたりの高臺やロシア町海岸あたりから、大連灣の波を越えて對岸をのぞみますと、柳樹屯の無線電信の高いアンテナのポールより左手のもつと手近な所に灰黑色の巨大な航空母艦のやうなものが見えるでせう。これこそ滿鐵がもつ大きな誇り、東洋第一、恐らくは世界第一とも稱へられてゐる甘井子の石炭積出用の高架棧橋です。縱に、横に、斜に、數へる事も出來ぬ夥だしい鐵材の交錯が、高さ二十米五、巾三十四米、長さ三百米といふ巨軀を構成してゐるのです。この

**素晴らしい** 高架棧橋をして價値あらしむる爲に、最も進歩發達した機械力が應用されてゐることは申す迄もありません。構内に引きこまれた數十條のレールの上を四臺の輕快な電氣機關車が右往左往し、止置線まで導かれた石炭を滿載した貨車はひとりでにカーヴを辿つてカーダンパーにさしかゝります。貨車は顚覆して石炭はピーヤーカーに移されます。カーダンパーの最大能力は一時間に石炭車四十臺を操ることが出來るさうです。石炭を積んだピーヤーカーはレールから高架棧橋に導かれカーの底が開くと三十秒の間に石炭は棧橋の下に横づけになつてゐる

**石炭船の腹** にうつされてしまふのです。この他ホッパーローダー・ベルトコンベーヤー・トランスポーター等々あらゆる新式の機械が應用され、これ等の機械のもつ能力は傍に立つスマートな白亞の司令塔の中で、技術者の手にふれる釦の一つ一つによつて遺憾なく發揮されるのです。何しろ滿鐵が百二十萬圓をポンと投げ出したといふ程あつてその設備は至れり盡せりです。しかも手荷役よりも機械力の方が遙かにスピーデーで經濟的だといふのです。で

**滿日婦人團** では來る二十三日にこの近代文明の集積である甘井子の港を見學しやうといふのです。こゝを一巡して海員クラブで休憩しますが、同クラブの袴田主幹から何か海に關する面白い講話がある筈です。海が穩かで時間の餘裕があつたらかへりには寺兒溝沖あたりまで方々廻航しますが、海務協會員が船からいろいろ説明して下さるでせう。午後三時には埠頭に歸着して皆さんの御家族へのサービスに差し支ぬやうにいたしたいと思ひます。そのために出發時間はキッチリ正午にいたしますから

**團員諸姉は** その時間までに第二埠頭にお集り願ひます。あの階段の下の左手の門から這入ると滿洲日報の旗が立てゝあります、なほ服裝は結團式の當日のやうになるべく銘仙程度の質素なものにいたしませう（寫眞は甘井子埠頭ビルディング―右―と海員倶樂部）

## 家庭研究所で 魚市場見學

滿鐵播磨町家庭研究所では一家の臺所を預る婦人達のために、日常食膳に上る魚類が漁夫に獲られてからどんな手順によつて臺所まで運ばれるかを知らしめると同時に市場や行商人から魚を買ひ求める場合の注意を與へる趣旨で來る二十一日（日曜）午前六時から約一時間ロシア町の關東州水產會魚市場見學を行ふが、なるべく多數の一般婦人の參加を希望してゐる、希望者は履物は必ず靴か下駄ばきで當日午前六時までに乃木町海岸（ロシア町電、終點より東へ五六町）に參集されたいと

## 日ノ丸號ノユクヘ（九十） 次朗

シマ ハ ダンダン ト チカヅキ、ソノ日ノ ユウガタ ニ ハ 三百メートル バカリ ノ チカク マデ キタ

シマ ニハ キヤ イワ ガ アツテ ハツキリ ト ミエル ソレデモ 太郎ハ ユメ デハ ナイカ ト ウタガツタ

日ガ クレテ 太郎ハ ジツト オソラ ノ ホシ ヲ ミテヰタガ トツゼン「ワカツタ ワカツタ」ト サケンダ

## 梅雨から眞夏への 衣類に防水法
### 色々の效能がある アルミナ法が最良

夏になつて汗を感じ、又梅雨の季節ともなり、この時に特に感ずるのは衣服に防水法を施す事であります、第一着物がどうして汚れるかと云ふに油汚れ、水汚れ、埃汚れの三つが主な原因です、これ等汚れを落す方法も必要ですが汚れない方法を先づ以てやつて置くことが誠に必要なことです、それには防水法があります、これは第一水汚れを完全に防ぎ布が縮まず、防蟲の效果もあります防水といつても色々の方法がありまして、ゴム引、蠟引、脂引、ヴイスコース引、アルミナ法等がありますが日常衣類の防水殊に絹毛織物の高級品用として最も理想に近いものはアルミナ法であります、この方法は明礬と醋酸鉛とを各別に水に溶かして混ぜますと醋酸アルミナ溶液が出來ますからこの透明な溶液の中に品物を約二三十分浸し乾燥後湯伸し又はアイロンで仕上げますと水に不溶性のアルミナが纖維上に殘つて防水となるのであります、この方法によりますと品物の質、手觸り、光澤等全然影響を致しませず、しかも完全に通氣性があつて衛生上何等の心配もありません、最後にこの防水は絹、綿毛何れの織物にもまた羽織、着物、長着、帶、襟等すべてにお奬め致し度いのですが只肌に直接觸れるものだけは防水してはなりません尙この防水は一面色止めにもなり褪色を防ぐ效能もあります



## 香りが高く 味に恍惚 ブラックコーヒーの話

コーヒーの種類、作り方には色々ありますが一般にコーヒーに牛乳を入れて飮むこと、つまりカフエーオレーの場合は必ず溫かいものを入れる事を忘れてはなりません。最近クリームや粉ミルクを使ふ事が流行して來ました。これは獨特のいゝ味が出て通人の間では喜ばれて居ります、英國の家庭ではコーヒー六人分に牛乳一合を入れて接待する事が一般の習慣になつてゐます、またブラックコーヒーと云つてミルクやクリームを入れずに飮む事が米國人から始まつて我が國にも傳はつて來ました、これをアフターヂナーコーヒーと云つてモカコーヒーのみを使ふのでありまして濃い香りの高いものでこの味に恍惚となつてブラックコーヒー黨になる人も大變增えて來ました、これ等コーヒーは大變興奮性に富んでゐますから晝間の活動時に飮用すれば大腦心臟の働きを强め良好にする效力がありますが、夕食後殊に就寢前は紅茶の方がよいのであります。

## 十五分間『美化作業』 大連神明高女スケッチ

◇…「あなたバレーの練習」「エヽ、美化作業がすんだら」こゝは大連神明高女の廊下です鬱り日の午後二時半、不氣味な鈴がながながとひゞきます、彼女等の美化作業がはじまるのです。

◇…箒、雜巾、塵取、柄のついた大きなタワシ——およそ美化作業の道具なんです。昭和の女學生のデイクシヨナリーにはお掃除なんてしめつぽい言葉はのつてゐません。キヤラコのエプロンとマスク、女の先生も袴の上からエプロンをかけてゐます。

◇…男の先生達は病院のお醫者みたいに白の仕事着です。みんな嬉々として働きます。五分、十分十五分、教室の隅まできれいに拭ききよめられました。窓のガラスもすみました。さあ皆さんお手を洗つてサヨナラをしにグラウンドに參りませう……といふだんどりなんです（寫眞は美化作業振り）

## 滿洲が生んだ女流運動家（6）
### 初心の生徒を導く許りで まだ競泳に出ない
### 埋れた河童 神崎千鶴子さん

大連神明高女に田畔、相生、千葉の諸孃がたてこもり、彌生高女に飯村姉妹あつて、この滿洲に極東の水泳王國を誇つたのは最早五、六年過去の歷史に殘つた思ひ出になつてしまひました、その後高石野田、鶴田、入江、高畑、高階の大立物が模範水泳をやつて見せたり、神明に常設プールを拵へ、保健浴場のプールを復活したり、運動場に大プールが竣工するなど

**水泳設備**……は完備され、再び黃金時代を待望すること久しいのですが、男子の分野は兎に角女子の分野を眺めますにわづか燎原の煙の如く、神明に越智さん、無理にも對立させれば彌生に神崎さんあるのみであります、神崎さんは學校でも水泳の選手ではないのですが——私共の學校では水泳部は選手を持ちません、一般的に夏期、水泳の練習をするに止めてゐます——とある、何と往時に比較して女子水泳界の不活潑さよ、一體この實狀は何をもつて理由づけられるか——不振の源は何處にあるか、そんな詮索はこゝでは控へるとしても、彌生にプールがないために、教師も生徒も氣を腐らせてゐることはほんたうです、本氣で練習など出來ないと云つた、

**自己嫌惡**……の氣分をも幾分認められるのです、選手を育てないから云ふのではありません、選手をもたずとも一般の生徒に水泳の練習を心掛けよく磨かれたら光る珠も見出されるでせう、神崎さんは小學校在學中既に一哩は平氣で、女學校三年頃から始めた練習によつて、二哩も樂に突破してゐるのです、この神崎さんを、初心の生徒を導くために教師の助手として、水につかるばかりで一度も競泳に出さないのは如何なるものでありませうか、彌生校は他の種目の運動選手をもたぬのではありません、神崎さんにすれば、つまらないでせう、今年は是非遠泳に參加したいと願つてゐるのです

**泳ぎ拔き**……たいのでせう五年生ですから最後を存分に尙彌生の水泳の一人者であると同時にバレー、バスケットの選手であり、三四年前は增田先生の愛弟子で、先年上野に入つた小林さんの小さな歌ひ手として、天眞そのものゝ大きな地聲で、二三回童謠の放送などしたこともあるお孃さん、而して三年生の終り頃音聲の變調期にすつかり宗旨がへをして運動に志すやうになつたのです、でもその頃の神崎さんは、どうみても運動には有望らしからぬ姿の背の小さな體重も十貫そこそこの童謠の歌ひ手に似つかはしい生徒だつたのですが、バレーをやり、バスケットを練習するうち背もぐんぐん延びて、水泳もそのために

**樂に二哩**……を突破出來たと云ふのです、神崎千鶴子さんは關東廳衛生技手、彌榮業技手神崎彩助氏のお孃さんで紀葉町の靜かなお宅で理解ある兩親と、二人の姉妹と一緒に幸福に暮してゐます

# 滿日各地版

## 附屬地外搬出品に相當の印花稅納付
### 十八日日支兩當局間に協定成り
### 滿紡課稅問題解決

【遼陽】遼陽附屬地に本社と工場を有する滿洲紡織會社に對する支那側の課稅問題については山崎遼陽領事、林奉天總領事、森岡領事、玉木滿紡專務、臧省主席委員、張財政廳長との間に種々折衝を重ねて居たが十六日に至り附屬地外に搬出するものに限り

**會社** は遼陽領事の證明を得て支那側に申告相當額の印花稅を支拂ふことに協定成り十七日滿紡と財政廳は細目に就て私契約をなすべく玉木專務出奉、十八日更めて面談の結果漸く解決するに至つた、財政廳では十九日廳長其の他來遼、山崎領事其の他立會の上滿紡の生産力等を視察したしとの申出があつて居る、本問題が今回支那側統稅實施に就ての試金石とされてゐたのは在華同業組合が南京政府財政部と私契約に依り納稅し居るため滿洲も同樣の如く解釋されてゐたのであるが、南支と滿洲は其の性質を異にし殊に鐵道附屬地に於ける此種

**徵稅** を認容せんか我特殊權益の一部拋棄となる結果を招致するのみならず我行政權の侵害となるからである、依つて外務省は附屬地の內外を問はず統稅の實施を拒否したもので今後と雖もこの方針で進む意嚮の如くである、遼陽在住邦商が安東、長春、奉天等に比し稅金問題につき鳴りを鎭めてゐるのは、店舖の少きによるのと業態と利害關係を異にするものが多いために成行觀望の態で居るのではないかと云はれて居るが岡田醫園其の他の邦商にありても速かに解決するにあらざれば其の蒙る影響も決して少額ではない

## 手紙三通出すに切手代が百圓也
### 列車ボーイにはゆすられる
### 戸澤中佐のロシア見聞談

【安東】昭和三年より滿三ケ年間英國駐在武官として駐在してゐた陸軍工兵中佐戸澤二郎氏は今回技術本部に復歸を命ぜられ歸任の途十七日午前七時五十分發列車で安東通過南行したが僅かの停車時間中往訪の記者に語る

英國滯在中倫敦以外の地には行かなかつたから一般の情況はあまり詳細には分らぬが現在英國では約二百五十萬人の失業者がゐる之等の失業者には政府から

**男子に** 一週間八圓、女子には五圓を給與しつゝあり此の點は日本の失業者と比較にならない恩典がある、政府では之に要する費用の爲め十億の借金を作り目下之れが改善方法につき惱んでゐるらしい、尙倫敦市內に於ては最近小商工業者の破産多く從つて貸家が多い、歸途シベリヤ鐵道にて通過の際車內における物價の高いのには驚いた、朝食が三圓から五圓、夕食は七圓から十五圓、ウオツカが一瓶十五圓と言ふ滅法な價格で鷄卵三個が一圓とは無茶苦茶であり亦一日一度は必ず列車ボーイにチツプをやる事となつてをり、これはボーイがソウエート政府の印のある五圓の受領證を出して强制的に之れをとり「モスコー」に於ては赤帽に荷物一個につき三圓もとられこれも亦政府の

**受領證** を持つて來る、此のモスコーには晝間一臺のタクシーも無く夜間だ、あるが晝間は政府の要人達が全部强制的に徵發して常用に供し夜間のみ自由行動を許してゐるらしかつた、

## 撫順炭坑秘話 (57)
## 後藤伯の淋しい顏
### 平佐二郎

「此頃、滿鐵の總裁になつた男に後藤新平と云ふ人が居る。此の人は君のやうに一高や帝大を出た秀才ではないが、東北の小藩水澤の縣廳のボーイから成り上り、醫者となり、自由は死せずと絕叫した板垣伯を治療して長岡から憎まれた人だ。先年の相馬事件に無暗に熱狂に同情したのも利害を超越して熱情に趨る此の人の美點だと思ふ。日露戰爭の前、臺灣の民政長官としてウーロン茶の販路擴張に此のペテログラードに來たとき、此のメドウエーヂの此のテーブルで僕は後藤新平とロシアの將來について大に語つたことがある。兒玉源太郞大將の無二の乾兒で今ペテログラードに留學して居る陸軍の滿面少佐なども兒玉大將の家で度々後藤さんに會つたと毎日彼の人物を賞めてゐる。要するに後藤新平は近頃の人傑だ。

「夏秋君、君は甚だ失禮な批評だが實業家よりも御役人向の人物だ僕の此の紹介狀を持つて君は大至急大連に行つて後藤に面會したまへ、それから此の大使館の大きな封筒、之は日本國の爲め、且つ又た滿鐵の爲めの重要書類だ。殊に滿鐵の唯一の寶庫たる撫順炭坑が米國人の手に奪はれるか、日本の手に確保出來るかと云ふ天下の一大事を解決すべき重要書類が此の中に這入つてゐるのだ。

「僕は特に君を大使館のクリエルとして官費で一等のパスを大連迄出して上げる。實は僕も之と同樣の書類を持つて今夜の急行で巴里に行き直にドーバー海峽を渡つてロンドンの小村大使のところへ行くのだ。君は後藤新平と相談して大連から日本の政府、特に參謀本部と伊藤公爵に向つて猛烈に運動してくれ給へ。よく譯の解つた後藤さんは君の一身上のことも必ず心配してくれるよ。その紹介狀は封もしてないから一度讀んでくれ給へ。君を是非滿鐵の相當の位置に採用優遇してくれるやうに書いてあるのだから……」

夏秋氏は思ひも寄らぬ殆ど初對面の大使館書記官の親切に感泣しました。そして自分と一緒に十何年か前に毎晩一高の寮から歌を唱ひながら神田の外國語學校に通つた無二の親友の鶴岡永太郞を思ひ出しました。日露戰爭前後に度々滿洲の各地から鶴岡の呉た手紙の中にも撫順の炭坑の事や馬賊林七の事や旅順の紀鳳臺の經營する旅館でマドリトフと云ふ支那馬賊の大頭目に會つて乾兒にして呉れと賴んで笑はれた話しなどが書いてあつたことなどを次から次へと思ひ出しました。

不意に近所のイサキエフの大殿堂で撞き出した喧ましい鐘の音で我に返つた夏秋氏は其の喧ましい音の中に神田の駿河臺のニコライ堂を想ひ出しました。

夏秋龜一は立ち上りました。熱い淚を流して田野書記官の手を握りました。

「有難う」

之より外に一口も言ひ足すことの出來ない夏秋龜一でありました「夏秋君、國家の爲めだ。後藤さんにも能く傳へてくれ給へ……」

……………

大連のロシヤ町の堂々たる滿鐵總裁邸の應接間で、大好物のマニラの葉卷を口にくはへながら夏秋龜一の差出す一つの大きな小包の樣な封筒の中の書類を一枚づゝ出して眺めて居た後藤新平の顏色はく見るうちに靑くなりました

「夏秋君、之ほんとかね」

「私は何も存じません」

後藤總裁は急に立ち上つて廣い應接間の中を歩き出しました。大好きな葉卷を持つたまゝ兩手を後ろにまはして下を向いて……突然後藤さんが机の所で立ち止まつたときにどうしたはづみか鼻眼鏡が落ちて硝子の玉がパチンと割れました。

「夏秋君、君は本社總裁秘書課職員にして上げやう」

と後藤總裁は怨めしそうに割れた眼鏡を取り上げながら言ひました

「夏秋君、この眼鏡は直に金で買へるが撫順の炭坑は一寸困つたもんだね」

火の消へた葉卷にマッチで火をつけながら笑ひ出した後藤總裁は葉卷の煙りのやうな淋しい顏でした。

## 父・副總裁を語る
### 江口副總裁の赴任を待つ
### 女婿平山博士の家庭

【奉天】守田福松氏から今度滿鐵副總裁として來任の江口定條氏の令孃が奉天に住んでゐられると耳にした記者はピンと六感に來たので稻葉町十八番地に夫君滿洲醫大外科、長平山遠博士の住居を訪れた初夏にふさはしい水入らずの淸らかな夫人玉枝さんの家庭では今回夫人の嚴父江口定條氏が內田滿鐵總裁と共に副總裁として近く着任滿洲に迎へることになり同家庭では夏の陽光より明るい喜びの空氣で充たされてゐる、學者はだの平山博士はぽつりぽつり語る

江口氏は一つ橋高商出身、同校の教授として永年勤務しその後三菱に入社、更に轉じて現在でこそ有名な同仁會組織に當り勘なからず困苦と戰ひ大隈侯會長となり江口氏は副會長として懸命の努力を續けその結果漸く認められ政府から補助金を受けることになつた以前はその事業として北平に同仁醫院あるのみであつたが現在ではその他に靑島漢口、濟南にも堂々たる同仁醫院が建設され日支人のため貢獻してゐる處極めて大なるものがあるその後現在の內田總裁を會長に江口氏は更に副會長として補佐し協力してこの事業に努め支那側に於ても各方面から多大の敬意を以て迎へられてゐる人でこの竹馬の友は內田總裁の着任と共に江口副總裁の來任をみた次第でせう

傍らから江口定條氏の次女――玉枝夫人は

父は口やかましい人ですから皆さまからどう考へられるかと心配してゐます

と道に親子の情を心に包んで

年は六十六歲になりますが趣味としては山登りは極めて好きで毎年夏季二回か三回か日本アルプスを登らぬことはありませんすが沼津にさゝやかな別莊がありますが沼津まで汽車で行かないで小田原で汽車を捨て箱根を越えて沼津に出ることがよくありますお札博士が日本に來てゐる

## 安滿に大勝
### アラメダ

【安東】日本內地を轉戰又た轉戰其の朝鮮に渡り非常な好成績を續けてゐるアラメダ野球團は十三日夜來安十四日新義州軍と一戰を交へ十五日安東滿倶とゲームを行ふ事となつてゐたが生憎の降雨の爲め十六日午後四時から球審吉本、壘審戶田、石井三氏審判の下に戰ひは滿倶先攻にて開始され終始安滿壓迫され僅に三回三點を得たのみにて七回迄に至りたる際降雨の爲めコールドゲームとなり十一對三にて安滿慘敗した因に當日のスコアー及びメンバー次の通り

| 回數 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 安滿 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | | | 3 |
| アラメダ | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 7 | | | 11 |

| 安滿 | | アラメダ | |
|---|---|---|---|
| 3 | 服部 | 5 | ロサンゼ |
| 7 | 筒瀬 | 6 | ハイサンピン |
| 2 | 酒井 | 7 | アライビン |
| 2 | 吉岡 | 3 | サーピド |
| 9 | 上條 | 8 | ゴッド崎 |
| 8 | 山道 | 9 | 川ホワイト |
| 1 | 千葉 | 4 | カータ |
| 6 | 有田 | 2 | マアータ |
| 5 | 山憲 | 1 | アサ |
| 4 | 手塚 | | |
| 5 | 酒井 | | |

## 州外野球大會 各軍の陣容
### いよ〱期日迫る

【撫順】州外球界の覇權を爭ふ「州外野球聯盟大會」は既報の如く愈々二十六、七、八の三日間撫順球場で開始されるが撫順、奉天、長春、安東とも何れも必勝の意氣物凄く目下當日の覇を目指して猛練習に餘念がない、同大會は連日に亘り數回相戰ふので出場各チームとも殆ど總動員州外球界の巨星一人殘らず撫順に落合ふ事となつた各チームの堅陣次の如し

| 安東 | 撫順 | 奉天 | 長春 |
|---|---|---|---|
| 瀨岡井部塚田馬條瀨田田瀨 | 田崎寺野邊田松島崎田山 | 原 島藤橋 野本川谷口 | 松本 上村 野戶幡田香川 |
| 山・服 | 小渡・原 | 小沖・中沖 | 上・川原 |
| 筒・葉・岡 | 前隅野 | 村・田 | 牧 橋・川 |
| 主1 筒 2 酒 3 吉 4 手 5 山 6 有 上 外野 筒上 補 植岩 | 監主1 隅 2 佐 3 出 4 高 5 成 6 小 外野 尾岡西 補 森・村田・梶原 | 監主1 田 2 近 3 大 4 鈴 5 松 6 香 外野 油瀨 補 西村・辻岡・樺山 | 監主1 川 2 高 3 田 4 小 5 藤 6 小杉 外野 淺中 補 吉村・淺野 |

九時三十分新義州に入港の筈にて七月二日まで新義州に碇泊し同日午前十一時出發鎭海へ歸航する事となつて居るが碇泊中は差支へなき限り一般に艦內の見學を許すさ

## 部下を思ふ老將の淚
### 峰中將の逸話

【安東】憲兵分隊檢閱の爲め來安した憲兵司令官峰幸松中將は非常に部下を愛する人として知られてゐるが、今回の來安に際し幾つか

下であつた憲兵軍曹松本權十郞氏が目下病氣の爲め就褥中であるが其の事をこれも當時の部下鞆倉鴨江日報支社長より傳へ聞き名刺に添へ見舞品として果物一籠を贈つた松本老軍曹は何時も變らぬ峰將軍が部下を愛する此の溫情に病床で感泣してゐたさ

## 二十八驅逐隊
### 近く新義州入港

【安東】鎭海要港部所屬第二十八驅逐隊蓬、蓮、蓼の三隻は西海岸警備のため來る二十二日鎭海を發し途中鎭南浦に寄航二十八日午後

## ゴム風船で嬰兒窒息

【旅順】玩具のゴム風船が無心の嬰兒の生命を奪つた事實は從來から報ぜられ旅順でも去る十六日午後三時忠海町車從發の三男車三子(一七)が之れをのみ込んで窒息死亡したので其筋に於て之れが取締方に就て考慮することになつた尙市內に販賣してゐる「ボンタ飴」の中には必ず挿入してあるから注意を要するさ

## 罷市の統制破る
### 一ケ月に餘る罷市に
### 支那商に困憊の色

【營口】統稅實施に對し當地支那側商人は商務總會を中心として之れが撤廢を請願し一面罷市を決行して對抗したが官廳側の態度意外に强硬にして稅捐局では二名の收稅吏を派して容赦なく稅金を取立てるので商店側も一ケ月に餘る罷市に益々困難を來し愈々ヤリ切れなくなつたので申合せた無視してぼつ〱商賣を〱なすもの出現し數日前より商取引を開始して居るが全體に對して僅かに二名の收稅吏を派遣し居ることなれば取引の間に合はぬので又復之に對して官憲の行爲を非難しつゝある狀況である

## 草木を喰ひ盡す
### 梨樹縣下の悲慘な農民

【四平街】梨樹縣下方四、五、七八區(三江口孤家子一帶)は昨年七八月の豪雨により遼河氾濫しあらゆる農作物は殆ど流失し剩つさへ銀貨の慘落は失業者を續生し該地方の經濟力は疲弊の極度に陷り約九萬五千人の農民は爾來草根木皮を食して僅かに露命を繫いでゐたが昨今最早それらの草木も薙ぎ盡してその附近には最早食物とすべきものなく前記の農民は今や死を待つばかりの實態にあるので梨樹縣政府においては是等難民救濟につき種々方法を考究する處あつたが結局當附屬地に於て去十八日より二十一日まで四日間支那芝居を開催しそれに依り揚れる金員は擧げて難民救濟に充つる事に決定して昨今當事者は觀覽券の前賣に大童となつてゐる

## 學校荒し餘罪

【奉天】既報十六日の午後三時頃教專附屬小學校附近で逮捕された學校荒しの鮮人全羅南道生れ西塔大街三丁目住李明振(二七)については其の後奉天署に於て取調中の處去月廿六日公學堂に忍び込み現金六圓、萬年筆を竊取せる外本月三日滿洲オフセットから現金四圓卅錢、七日正金コートに於て現金四十五圓八日若松町モルモ局で現金三圓入りの價格十一圓の財布、十三日驛西信號所附近に於て金若干、印鑑入りの財布を何れも竊取せることを逐一自白するに至つた尙餘罪多數ある見込である

## 金州支那商極度に萎縮

【金州】機織業方面では全數の三分の二が倒産し雜貨商中にも少數の倒産者を出して危險視されるものが多かつた城內支那商人は何時昂騰するとも知れぬ銀安の爲に著しく購買力を減退されて極度に萎縮し切つてゐるが小さく長くの經營方針に依り辛うじて現下の不況を切り拔けてゐる

## 現洋沒收對策

【奉天】附屬地內兩替商組合では十八日午後四時半より取引人組合で役員會を開き城內より現洋運搬の際支那官憲が屢々之を沒收するためかくては支那通貨の運搬不可能に陷るので之が對策につき協議をなす處あつた

### 小會一束

◇人類愛善會奉天支部では會口日出麿氏の來奉を機會に廿日午前十時半から同氏の歡迎を兼ね支那側紅卍字會同人と聯歡會を催し同夜六時から春で歡迎會を催した

◇奉天輸入組合理事兒玉翠嶺就任披露のため十八日午後牛から洞庭春で在奉新聞記者招待し一夕の懇親宴を催した

◇大谷派僧侶曉烏敏氏は滿鐵課後援の下に二十一日より間午後一時から奉天東本願午後七時から同滿鐵社員倶で講演會を催す

◇眞宗大谷派曉烏敏氏は講演二十一日午後四時から遼陽樂部で一般の爲めに講演隊で午後七時から同滿鐵社後一時から弓友倶樂部の參求めて月例會を催す

◇滿鐵遼陽弓道部では二十一

◇在遼陽新潟縣出身者は領事山崎氏等の發起で越後新發兵第十六聯隊が駐劄するの會に廿三日午後六時から遼鐵社員倶樂部日本間で縣人開催する

◇鞍山地方事務所社會係主催十九日午後七時三十分より於講堂で曉烏敏氏の講演會

◇滿洲銀行開原支店長梶浦滋今回撫順支店に榮轉するの月十八日午後五時三十分同取引關係ある者及交友は開原驛食堂に招き送別の宴つた

### 沿線人事往來

▲森守備隊司令官　十八日連より奉天へ
▲佐藤代議士　十七日奉天より春へ
▲加藤代議士　同上
▲松田關東廳高等課長　十七天へ
▲佐野關東軍經理部長　同上
▲笠井重治氏(東京市會議員)八日奉天へ
▲太田滿鐵運輸課長　十七日へ
▲出口日出麿氏　十七日奉天
▲新冀鵬氏(前國務總理)　十夜哈爾濱へ
▲山崎遼陽領事　十八日午後で遼陽より奉天へ
▲杵淵遼陽校長　十八日遼陽瓦房店へ
▲林奉天總領事　十九日營口大石橋を經て湯崗子へ二十湯崗子發鞍山製鐵所視察の日急行で歸奉の筈
▲遼陽衛戍病院將校三名下士兵卒九十一名　湯崗子方面の途次十九日鞍山着集合宿營
▲武部治右衛門氏(滿鐵地方長)沿線初度巡察の途次二日午前九時十六分着列車に山着湯崗子溫泉に一泊翌二日朝北行の筈

# わが警官の犯人逮捕を妨害
## 而も支那側が逆抗議

【長春】十七日午後四時頃長春普善寺祭禮の支那芝居附近に於ける賭博犯人の逮捕に際し支那軍警が數千の支那人彌次馬と合同して妨害したことから日支官憲の一大紛爭を演出せんとしたが武波署長の現場急行と共に支那官憲の逃走となり止むなく日本官憲も引揚げたが我官憲の犯人逮捕に當り投石して妨害した支那人二名を逮捕拘置目下取調中である、我官憲では穩便に事件を解決すべく支那側への抗議を差控へたところ支那側は十八日午前逆に我官憲へ一歩附屬地外に逃げ込んだ犯人を踏み出して逮捕するとは怪しからんと突込んで來たゝめ我官憲では犯人の逮捕を阻止し且投石して暴行を加へた軍警及群衆を取調べるのが至當であつて抗議を受くべき筋合でないと一蹴してしまつた

## 乘馬大會豫選

【鞍山】十一月三日明治神宮に於て日本全國の乘馬大會を開催されるが滿洲に於ては沿線各地乘馬倶樂部より三名宛選手を出場せしめ七月十二日海城野砲兵隊練兵場に於て豫選大會を開催するが鞍山乘馬倶樂部では目下人選中であると

## 盆踊り公開

【奉天】賑やかに踊り拔く趣向で市場正門會では納涼客慰安を兼れ市場の繁榮のため來る七月十三四の兩日市場構内で盆踊りを公開するが本年最初の試みとして各方面から多大の興味をもつて迎へられてゐる尚踊り子は老若男女を問はず近く練習を開始する由

## 朝鮮人運動會

【奉天】在奉朝鮮人の大運動會は廿日の端午節當日午前九時から午後四時まで加茂町練兵場に於て盛大に開催されるが多數來觀を希望するさ

## 旅順

### 旅順金融概況

五月中における旅順の金融概況は左の如し

▲雜穀方面　に於て各品共概れ在庫品多く仕入手控の姿にて大豆の六十噸を筆頭に何れも入荷減少に隨つて取引も閑散又相場は依然銀落の爲僅かに高粱の上騰氣配に轉じたる外何れも氣配頓に軟化し遂に低落歩調に終始し月末市價二圓八十四錢も下押前月末に比し十五六錢の下値を見せた粳白米亦月末二圓六錢内外、高粱は一圓九十五錢見當を見せ十二三錢方の高値を以て推移された

▲鹽業方面　亦天候不順の爲め幾分豫期に反し五萬四千石の生産に過ぎざりしが内地向工業鹽並に漁業鹽の需要も喚起され前月に比すれば百萬斤の輸出増加を示し關西東北兩方面向漁業鹽を合し二千五百九十四萬斤の輸出高を算し引つゞき活況を呈しつゝありて當　末の相場は原鹽百斤究撒三、七八十錢製鹽八十斤包裝一圓二三十錢を示してゐる

▲水產方面　は愈々盛漁期に入り入荷も旺勢で當月中の總賣上高は二萬三千四百圓に上り前月に比し二千七八百圓の増加し引つゞき賣行き良好なるが奧地向出荷極めて少かりしを以て格別品不足の傾向もなく相場依然軟弱裡に終始した

▲金融狀況　は市況前記の如くにて更らに新規資金の需要を喚起せず金融依然無味閑散裡に越月するさ已むを得ざる狀態にて鮮銀正隆當月中の預金貸出しを示せば左の如し（單位千圓）

| | 當月 | 前月 |
|---|---|---|
| 預金 | 四、九五〇 | 五、〇〇五 |
| 貸出 | 一、三一九 | 一、三一四 |

### 昭和園の自祝

十九日は昭和園開園五周年に相當するので内田興行部では記念自祝の爲め同日より三日間入場者に對し福引券を贈呈する事となり一等白米二等反物三等木炭四等浴衣五等化粧品六等履物以下二十等迄夫れ〳〵景品を進呈するが上映寫眞は美男澤田清主演「維新暗流記」全九卷同じく時代劇「江戸美少年錄」全八卷の外現代劇は大日方傳主演「僕は戀へがあります」全四卷である

### 新市街プール

新市街運動場のプール開きは二十日の豫定であつたが修繕其他の都合で二十二日頃から開くことゝなつた

## 黃金臺

◇

旅順橋會支部では、例に依り來る二十日、二十一日聖德殿に於て生花大會を開催、るが多數の來觀を希望するさ

◇

乃木町派出所勤務森武男巡査は今回本廳の門田半右衛門巡査と勤務替へになつた

◇

敦賀町山北木具製作所隣へ今回日支一品料理店「萬兩」と云ふのが開業した邦人の經營だけに清潔さ味覺は確かに百パーセントだと云はれてゐる

## 奉天

### 地委懇談會

地方委員懇談會は既報の如く十七日午後二時より地方事務所會議室に於て鹽尻議長外十一名委員出席の上開催、先づ青葉町附近に郵便所…

## 鞍山

### 商店協會總會

鞍山商店協會では十九日午後七時より實業會堂に於て定時總會を開催し左記事項を附議するさ
一、會則改訂に關する件
一、役員改選の件

### 洋畫展覽會

鞍山洋畫同好者有志により來る二十七、八、九の三日間實業協會堂に於て洋畫展覽會を開催するが出品者は見坊所長、右近庶務課長、久留島採鑛課長、其他數名にして日本畫家坂井、木元の兩氏も出品するが兩氏は昨年協會堂に於て合作展を開催し一般に好評を博した氏であるが鞍山洋畫會見坊會長以下十數名は目下出品畫製作中であるさ

### 褒狀授與式

鞍山煙草耕作組合では過日煙草苗床の品評會を行つたが來る二十三日午前十時より組合倉庫に於て優秀者に對し褒狀授與式を擧行するさ

### スポンヂ野球

鞍山地方事務所對中學校のスポンヂ野球試合は十七日午後四時より小學校々庭に於て擧行されたが七對六のスコアを以て地方事務所の勝利に歸した

## 開原

### 開原信託總會

開原取引所信託株式會社は同社取締役の任期滿了には關東廳の命令條項に依り六月十七日午後二時總會を公議會々議室に開催した

### 廣告映畫公開

本社主催パテーベビー映寫會は六月二十日開原小學校講堂に於て無料公開するので同支局は多數の觀覽を希望して居る

### 川崎氏夫人葬儀

開原地方事務所長川崎亥之吉氏令閨玉尾夫人の葬儀は六月十七日午後三時開原寺において盛大に靜粛に執行された

同夫人は溫厚博愛の淑德を備へ開原婦人會々長として婦道の向上に努め公私多くの功績を遺し所員市民の頌讃敬仰する所であつた大連奉天長春その他より一千餘名の會葬者があつた

## 營口

### 商議特委會

奉天商議の特別委員會は十七日午後二時から同所會議室に於て開催された出席者は正副會頭に各委員として定款改正に關し協議の結果改止する以上は徹底的に行ふことに意見一致し滿洲は特殊の事情があるので日本商議法、朝鮮商議法を充分研究の上滿洲は滿洲として之に適合するやう萬全を期することになり四時頃閉會した

### 自主同盟支部

全滿日本人自主同盟會營口支部にては十七日夜商業會議所にて支部會を開き松本支部長より曩に奉天にて開會したる支部長會議の經過報告あり次で營口支部規約及經費の件を附議し支部により幹事に加藤讓次、田中七、下瀨茂雄、安彥光三、片岡慶二、堀井政次郎、伊藤與太の七名を指命した

…を設置の問題に關しては附近の各町内會より一ケ月分の經費負擔を承認せるものを報告し、背後地經濟調査は現に活躍しつゝある營口を視察することになりその方法日時は議長に一任、遊興費雜種割の滿鐵側の二割引に對し現今の不況さ經營困難では從來通り三割引を妥當とすることになつた又錢鈔業雜種割は從來奉票の出來高一千圓に對し金四厘を課してゐたが二月以來奉票の取引行はれず現大洋制に改正されたので前年同樣奉票を現大洋に變更することになり午後五時散會した

### 金州

### 北部野球選手

本社三支局主催の下に來月十九日午前九時より當地内外綿グラウンドに於て開かるゝことになつた州内北部野球大會の金州出場チームは曩に青年團主催の軟式大會に於いて優勝せる新市街チームに資格を與へてゐたが、今般硬球に變更した爲選手に不足を生じたのでチーム編成に付青年團では十七日午後七時より内外綿倶樂部に各部運動委員並新市街チームの代表者の參集を求めて協議の結果各部よりピックアップする事に決定銓衡の結果左の如きベストメンバーが出來上つた

△投手平田、兒玉、高見△捕手時任、本島△一壘手藤原△二壘手若林△三壘手竹氏△遊擊手滿田△左翼手橋口△中堅手福田（内外綿）△右翼手外村△補缺福田（病院）

## アマチュアの滿洲寫生行

高見成

（四十九）河北驛（營口）

營口に於て遼河の河幅は七百米、水の色は黃河と同樣に赤い。對岸に問題の河北驛＝支那鐵道北寧線＝があります。

左が驛、右は同鐵道學校です附近に幾つかの埠頭を築營して滿鐵との間に競爭を試み、現に河北驛の發着貨物は逐年倍加の勢ひを示して來てゐます。

二十日午後七時半より
「實物廣告展覽寫」外
**無料入場券**
開原小學校
此券切拔持參者五名迄有効

## 史稿餘錄

信夫淳平

去る二日以降の貴紙に掲載の榮を得たる私の大連講演の要領は、講演に先だち速記は御免を蒙るとお斷りをして置いたので、自然要旨のみの摘記となつたが故でもあらう、多少聞違ひのあつたのは已むを得ない大いしたことでもないが、他日歷史の材料となるの光榮を慮り、今の中に多少訂正を加へて置く方が然るべきかとも思ひ正誤して頂ひたき諸點を左に摘記して餘白の割愛を願ふことにする

（一）副島外務卿のペルー船の支那奴隸解放は船長に要求したのではなく、日本政府の所見として任意に解放して了つたのだ。故に船長はびつくりし苦情を日本政府に持込んだのである。

（二）萬國公法はホイートンであると原書名がロー・オブ・ネーションスとある所から、それが國民法と譯されたといふ滑稽談である

（三）伊藤侯は十七年の天津談判以後も、或は首相樞相として或は元老として、重大な外交要件には一として干與しなかつたことはない。その間に彼の外交家としての識見が隨所に現はれた。

（四）貢進生は五萬石以上が大藩として三人、五萬石以下一萬石以上が中藩として二人、その以下が小藩で一人といふ制であつた。小倉の名は庄平である「小倉さんが今生きて居つたならば、大隈さんと伊藤さんをつきまぜたやうな人でせう」とは小村侯の評であつた

（五）小　侯は明治十三年に歸朝して司法省に出仕した。外務省に轉じたのは明治十七年で、それは學友杉浦重剛翁の斡旋である。

（六）露國の滿洲に於ける火事泥的態度に對して我國と共に警告したのは英佛でなく英米である。

（七）日英同盟の成立は三十四年の一月三十日である。四月八日のは右同盟の成立に刺戟を受けて露國の遂々やつた滿洲撤兵條約の調印である。又京都の山縣公の別墅は無鄰庵である。

（八）ポーツマス談判の行詰つた時、小村侯はニユーヨークに既に引揚げたのではなく、談判を打切つて一先づニユーヨークまで引揚げやうといふ意見を政府に電稟したのである。

（九）大山總司令官の山本海相への言葉は「戰ひは勝つたが」といふ過去の詞ではなく「戰ひには勝ちます、けれども納めの時が肝腎です、その役目をあなたに頼んで行きます」といふ出征の際の告別辭であつたのだ。

（一〇）鐵道守備兵の數は露國の希望したのではない。ポーツマス談判に於てウヰツテは讓利條約追加約款に於ては單に日露兩國が鐵道守備兵を置くの權利を留保し兵數は別に双方の協議で定めやうと提議したのだが、小村侯は露國の守備兵を能ふ限り減少せしめて滿洲占領の再度の企圖に止めを刺さしめやうとの考へから、一キロ五名といふ案を主張し、双方更に歩み寄つて遂に十五名と決したのである。

（一一）政務局長は山田でなく山座である。せめては山座君にして今存命ならば、滿蒙を中心とする我國の外交には今少し潑剌たる活氣を見ることが出來よう。又米國でハリマンと共に我が外債應募に盡力したのはショフでなくシッフである。

最後に。小村第二次外相の五大功績の第五に條約改正といふことのあつたのを閑却してはならぬ。これは滿洲と直接の關係が薄いので論及しなかつたが、わが國は儀廿七年のそれにおいて取殘された條約改正により、陸奧伯の明治の關係の自主權を完全に回復し、維新以來の大懸案をこゝに始めて全く解決し得たのである。

日本評論社全滿讀者サービス

# 特選名著 半價大提供

## 全滿讀書界驚倒の一大壯擧・昨日迄は定價プラス運賃・今日からは半價

### 現代法學全集

| 卷數 | 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 穗積重遠外 | 法學入門 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 2 | 我妻榮外 | 民法總則 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 3 | 上杉愼吉外 | 憲法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 4 | 三潴信三外 | 契約各論 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 5 | 立作太郎外 | 平時國際法論 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 6 | 末弘嚴太郎外 | 債權總論 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 7 | 野村淳治外 | 行政法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 8 | 田中耕太郎外 | 手形法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 9 | 美濃部達吉外 | 行政裁判法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 10 | 瀧川幸辰外 | 刑法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 11 | 佐竹三吾外 | 鐵道營業法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 12 | 中島弘道外 | 非訟事件手續法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 13 | 松本烝治外 | 會社法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 14 | 遠藤後一外 | 電氣事業法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 15 | 宮澤俊義外 | 衆議院選擧法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 16 | 松波仁一郎外 | 海法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 17 | 入江昂外 | 銀行法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 18 | 平田慶吉外 | 鑛業法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 19 | 杉之原舜一外 | 不動産登記法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 20 | 加藤正治外 | 破産法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 21 | 青山衆司外 | 保險法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 22 | 三浦周行外 | 法制史 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 23 | 岸信介外 | 取引所法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 24 | 岡田文秀外 | 河川法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 25 | 武井群嗣外 | 土地收用法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 26 | 烏賀陽然良外 | 海商法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 27 | 丹羽七郎外 | 都市計畫法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 28 | 藤野惠外 | 社會行政 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 29 | 榛村專一外 | 著作權法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 30 | 牧野英一外 | 法律講話 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 31 | 小野清一郎外 | 刑事訴訟法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 32 | 石黒武重外 | 漁業法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 33 | 大森洪太外 | 人事訴訟手續法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 34 | 山田三良外 | 國際私法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 35 | 野間海造外 | 農業法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 36 | 安達祥三外 | 商標法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 37 | 三宅正太郎外 | 治安維持法 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 38 | 竹田省外 | 商行爲法 | 一・五〇 | 〇・七五 |

但上製は豫約價壹圓に付特價は五十錢です

### 書

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| アモン | 正統派經濟學 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 石川三四郎 | 社會主義運動史 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 瀧本誠一 | 日本經濟思想史 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 本位田祥男 | 協同組合論 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 松平齊光 | フランス政治思想史 | 一・五〇 | 〇・六〇 |
| 今中次麿 | 政治政策學 | 一・二〇 | 〇・六〇 |
| 汐見三郎 | 財政統計 | 〇・九〇 | 〇・四五 |
| 橋爪明男 | 英國の株式銀行 | 〇・九〇 | 〇・四五 |

### 明治文化全集

編輯代表 法學博士 吉野作造 全二十四卷

| 卷數 | 書目 |
|---|---|
| 第一卷 | 皇室篇 |
| 第二卷 | 正史篇(上) |
| 第三卷 | 正史篇(下) |
| 第四卷 | 憲政篇 |
| 第五卷 | 自由民權篇 |
| 第六卷 | 外交篇 |
| 第七卷 | 政治篇 |
| 第八卷 | 法律篇 |
| 第九卷 | 經濟篇 |
| 第十卷 | 教育篇 |
| 第十一卷 | 宗教篇 |
| 第十二卷 | 文學藝術篇 |
| 第十三卷 | 時事小說篇 |
| 第十四卷 | 飜譯文藝篇 |
| 第十五卷 | 思想篇 |
| 第十六卷 | 外國文化篇 |
| 第十七卷 | 新聞篇 |
| 第十八卷 | 雜誌篇 |
| 第十九卷 | 風俗篇 |
| 第二十卷 | 文明開化篇 |
| 第二十一卷 | 社會篇 |
| 第二十二卷 | 雜史篇 |
| 第二十三卷 | 軍事・交通篇 |
| 第二十四卷 | 科學篇 |

體裁菊大判總クロース特製。八ポ二段組。挿繪豐富。一冊約六百頁。定價一冊四圓(特價二圓)

### 政經

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 馬場敬治 | 産業經營理論 | 四・〇〇 | 二・〇〇 |
| 向井鹿松 | 新經營者學 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 下田將美 | 世界經濟の革新運動 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 大阪朝日新聞經濟部 | 增補新版 商賣うらおもて | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 大阪每日新聞 東京日日新聞 エコノミスト | 日本金融資本戰 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 東京朝日新聞經濟部 | 增補改訂 通俗財話 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 中川友長 | 統計研究法の基礎 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 小島精一 | モルガン王國 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 太田正孝 | 經濟その折々 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 瀧本誠一 | 乞食袋 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 瀧本誠一 | 卓を圍んで | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 瀧本誠一 | 日本經濟典籍考 | 三・五〇 | 一・七五 |
| 小林丑三郎 | 經濟思想及學說史 | 三・五〇 | 一・七五 |
| 松好貞夫 | 土佐藩經濟史研究 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| アライス 石渡六三郎 | 英國經濟學史 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 土方成美 | 財政學講義(上卷) | 二・五〇 | 一・二五 |
| 青木得三 | 日本國債論 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 楠井隆三 | ダルトン財政學 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 中川與之助 | 財政現象の研究 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 白柳秀湖 | 財界太平記 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 白柳秀湖 | 續財界太平記 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 神戸正雄外 | 經濟學研究(經濟篇) | 四・〇〇 | 二・〇〇 |
| 明石照男外 | 經濟學研究(金融篇) | 四・〇〇 | 二・〇〇 |
| 山本条太郎 | 經濟國策の提唱 | 〇・五〇 | 〇・二五 |
| 菅野和太郎 | 日本商業史 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 佐藤寛次 | 肥料問題研究 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 三土忠造 | 經濟非常時の正視 | 〇・七〇 | 〇・三五 |
| シュルター 東京政治經濟研究所 | 經濟調査の仕方 | 〇・八〇 | 〇・四〇 |
| 吉野信次 | 我國工業の合理化 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 田村市郎 | 經濟統計學 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 勝田貞次 | 財界は何うなる | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 向井鹿松 | 産業の合理化 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 佐藤安之助 | 滿蒙問題を中心とする日支關係 | 〇・五〇 | 〇・二五 |
| カウツキー 藤井悌 佐多忠隆 | 唯物史觀 第一書 精神と世界 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 髙田保馬 | 勞働價値說の吟味 | 一・八〇 | 〇・九〇 |

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 河合榮治郎 | トーマス・ヒル・グリーンの思想體系 下卷 | 三・〇〇 | 二・五〇 |
| 本庄榮治郎 | 人口及人口問題 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 本位田祥男 | 消費組合運動 | 三・八〇 | 一・九〇 |

### 政治外交

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 吉野作造 | 現代政局の展望 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 太平洋問題調査會 | 米國人の觀たる滿洲問題 | 〇・八〇 | 〇・四〇 |
| 安富正造 | 海軍軍縮問題 | 〇・五〇 | 〇・二五 |
| 守屋榮夫 | 太平洋時代來る | 二・五〇 | 一・二五 |
| 永井亨 | 日本政黨論 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 茗荷房吉 | 日本政黨の現勢 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 永井亨 | 日本民族論 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 關口泰 | 普選と新興勢力 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 川村貞四郎 佐伯數美 | 英國勞働黨の政策及現勢 | 二・七〇 | 一・三五 |
| 武藤山治 | 實業政治 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 白柳秀湖 | 西園寺公望傳 | 二・五〇 | 一・二五 |

### 農村

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 小橋一太 | 農村自治 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 清水長郷 | 農村財政 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 清水長郷 | 農村經濟 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 牧野輝智 | 農業金融 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 氣賀勘重 | 小作問題 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 橋本傳左衞門 | 農村土地問題 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 志村源太郎 | 産業組合問題 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 笠森傳繁 | 農村社會學 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 東京朝日新聞經濟部 | 明るい里暗い村 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |

### 讀本シリーズ

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 穗積重遠 | 法律讀本 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 太田正孝 | 經濟讀本 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 下村宏 | 財政讀本 | 一・二〇 | 〇・六〇 |
| 永井亨 | 社會讀本 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 尾崎行雄 | 政治讀本 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 武藤山治 | 實業讀本 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 關屋龍吉 | 教育讀本 | 一・二〇 | 〇・六〇 |

### 小

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| シンクレア 前田河廣一郎譯 | 資本 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 前田河廣一郎 | セムガ | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 林房雄 | 密偵 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 小林多喜二 | 不在地主 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 片岡鐵兵 | 太刀打ち | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 金子洋文 | 赤い湖 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 岩藤雪夫 | 血 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 平林たい子 | 敷設列車 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 葉山嘉樹 | 誰が殺したか? | 〇・三〇 | 〇・一五 |

# 全滿讀者層への大奉仕

全滿洲の讀書界に貢獻すべく、今回日本評論社發行の全圖書を擧げて之を半價提供致します。

**期間** 自六月二十日 至七月五日

但期間後は定價に復す

主催 日本評論社 滿洲日報社

後援 滿洲書籍商組合

### 時事問題講座

| 著者 | 書目 |
|---|---|
| 土方成美 | 金解禁 |
| 小川郷太郎 | 國債整理 |
| 大口喜六 | 財政整理 |
| 太田正孝 | 關稅と貿易 |
| 牧野輝智 | 國際貸借 |
| 田中廣太郎 | 地方財政 |
| 吉野作造 | 對支問題 |
| 尾崎行雄 | 軍備制限 |
| 河津暹 | 中小農商工問題 |
| 安部磯雄 | 失業問題 |
| 渡邊鐵藏 | 産業合理化 |

四六判總布裝上製本函入 一冊五〇錢 特價二五錢

### 社會科學叢書

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 本位田祥男 | 英國經濟史要 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 土田杏村 | 社會哲學 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 堀經夫 | リカアド派社會主義 | 〇・九〇 | 〇・四五 |
| 高御賢三 | 法律哲學 | 〇・九〇 | 〇・四五 |
| 山川均 | 社會主義サヴェート共和國同盟の現勢 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 波多野鼎 | 社會思想史概說 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 高田保馬 | 經濟學 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 小松堅太郎 | 社會學概論 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 高島素之 | 地代思想史 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 上田貞次郎 | 株式會社論 | 〇・七〇 | 〇・三五 |
| 波多野鼎 | 新カント派社會主義 | 〇・八〇 | 〇・四〇 |
| 蠟山政道 | 行政學總論 | 一・二〇 | 〇・六〇 |
| 藤井悌 | 各國勞働黨・社會黨・共産黨 | 一・二〇 | 〇・六〇 |
| 小林良正 | ドイツ經濟史要 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 荒木光太郎 | 墺太利學派經濟學 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 新明正道 | 獨逸社會學 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 三谷隆正 | 國家哲學 | 〇・九〇 | 〇・四五 |
| 小野清一郎 | 法律思想史概說 | 〇・七〇 | 〇・三五 |
| 山川均 | インタナショナルの歷史 | 〇・九〇 | 〇・四五 |
| 田邊忠男 | 勞働組合運動 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 土田杏村 | ユートピア社會主義 | 〇・七〇 | 〇・三五 |
| 藤井悌 | ファッシズム | 〇・九〇 | 〇・四五 |
| 美濃部達吉 | 人權宣言論 | 一・二〇 | 〇・六〇 |

### 現代産業叢書

| 卷數 | 書目 |
|---|---|
| 第一卷 | 農業・鑛業編 |
| 第二卷 | 金融・保險編 |
| 第三卷 | 商業・交通編 |
| 第四卷 | 工業編上卷 |
| 第五卷 | 工業編下卷 |
| 第六卷 | 世界産業大觀 |
| 第七卷 | 日本經濟圖表 |

各冊壹圓 特價五十錢

### 自然科學

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 鏑木德二 | 森林の生理 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 小南又一郎 土屋榮吉 | 飲酒と犯罪及禁酒 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 中瀨古六郎 | 近代化學概觀 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 岩崎重三 | 農業地質學 | 四・〇〇 | 二・〇〇 |
| 大谷武夫 | 醱酵素研究法 | 六・〇〇 | 三・〇〇 |
| 野滿隆治 | 海洋學 | 二・八〇 | 一・四〇 |
| 池田芳郎 | 美しき高電壓の現象 | 二・五〇 | 一・二五 |

### 財

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 土方成美 | 我國民經濟と財政 | 三・五〇 | 一・七五 |
| 岡實 | 社會經濟批判 | 八・〇〇 | 四・〇〇 |
| 深井英五 | 通貨調節論 | 三・五〇 | 一・七五 |
| 深井英五 | 通貨問題としての金解禁 | 一・六〇 | 〇・八〇 |
| 山室宗文 | 我國の金融市場(正編) | 二・五〇 | 一・二五 |
| 山室宗文 | 我國の金融市場(續編) | 二・八〇 | 一・四〇 |
| 牧野輝智 | 貨幣學の實證的研究 | 三・八〇 | 一・九〇 |
| 橋爪明男 | 貨幣理論 | 三・五〇 | 一・七五 |
| カアル・クニース 山口正吾 | 貨幣 | 五・〇〇 | 二・五〇 |
| カッセル 田村鐵郎 毛里英於菟 | 世界の貨幣問題 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 山本米治 | 貨幣錯覺 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 上山滿之進 | 戰爭と硬貨 | 三・五〇 | 一・七五 |
| 小林丑三郎 | 批判經濟學 | 五・〇〇 | 二・五〇 |
| 前田繁一 | 庶民金融 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 高橋龜吉 | 資本主義發達史 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 猪谷善一 | 日本資本主義 | 三・〇〇 | 一・五〇 |
| 小島精一 | 恐慌と獨占 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 小島精一 | 英國産業組織論 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 小島昌太郎 | 交通經濟論 | 二・五〇 | 一・二五 |

### 濟

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| レオン・ワルラアス 早川三代治 | 純粹經濟學入門 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 土方成美 | 日本經濟研究(上下附錄) | 三〇・〇〇 | 一五・〇〇 |
| 東京政治經濟研究所 | 政治經濟年鑑 昭和六年版 | 三・〇〇 | 一・五〇 |
| 前田繁一 | 新街頭經濟學 附錄經濟用語辭典 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 渡邊良吉 | 日印綿業論 | 五・〇〇 | 二・五〇 |
| 馬場敬治 | 經營學方法論 | 三・五〇 | 一・七五 |

### 法律

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 孫田秀春 | 勞働法論(各論上卷) | 二・八〇 | 一・四〇 |
| 孫田秀春 | 勞働法通義 | 二・八〇 | 一・四〇 |
| 奈良正路 | 判例を中心とせる普選法 | 四・〇〇 | 二・〇〇 |
| 栗栖赳夫 | 社債信託法原論 | 四・〇〇 | 二・〇〇 |
| 栗栖赳夫 | 工場・鐵道及鑛業抵當法論 | 二・二〇 | 一・一〇 |
| 山口正太郎 | 勞働法原理 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 永井亨 | 勞働組合法論 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 泉哲 | 最近國際法批判 | 三・五〇 | 一・七五 |
| 大森洪太 | 裁判夜話 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 大森洪太 | 裁判異譚 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 清水玄 | 健康保險法提要 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 立作太郎 | 平時國際法論 | 五・五〇 | 二・七五 |
| 立作太郎 | 戰時國際法論 | 五・〇〇 | 二・五〇 |
| 末弘嚴太郎 | 法窓雜話 | 二・五〇 | 一・二五 |

### 社會

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 高田保馬 | 社會雜記 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 那須皓 | 人口食糧問題 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 黒正巖 | 百姓一揆史談 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 本位田祥男 | 消費組合巡禮 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 本位田祥男 | 人間復興 | 一・二〇 | 〇・六五 |
| 本位田祥男 五島茂 | ロバアト・オウエン自叙傳 | 四・〇〇 | 二・〇〇 |
| 高島素之 | 批判マルクス主義 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 土方成美 | マルクス價値論の排撃 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 新生協會同人 | 新社會の基調 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 山内一雄 | ソウエート共和國 その政治・經濟・社會 | 一・二〇 | 〇・六〇 |
| 藤村一男 | 學生思想問題雜話 | 〇・八〇 | 〇・四〇 |
| 梅嵩南 | 三民主義と階級鬪爭 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| マックス・アドラー 山田秀男 | 思想家としてのマルクス | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| ダーウイン 大畑達雄 | 淘汰 | 四・五〇 | 二・二五 |
| 矢野恒太 | 日本國勢圖會 昭和四年版 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 河合榮治郎 | トーマス・ヒル・グリーンの思想體系 上卷 | 四・〇〇 | 二・〇〇 |

### 說

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 藤森成吉 | 蜂起 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 德永直 | 能率委員會 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 黒島傳治 | 氷河 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 村山知義 | 暴力團記 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 貴司山治 | 敵の娘 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 松崎實 | 殺生關白行狀記 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 與謝野晶子 | 歌集 心の遠景 | 二・二〇 | 一・一〇 |
| 青野季吉 | 或る時代の群像 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 葉山嘉樹 | 穉き鬪士 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 細田源吉 | 陰謀 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 今野賢三 | 女工戰 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 伊藤永之介 | 暴動 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 金子洋文 | 魚河岸 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 小牧近江 | 異國の戰爭 | 〇・三〇 | 〇・一五 |
| 前田河廣一郎 | 支那から手を引け | 〇・三〇 | 〇・一五 |

### 隨筆・紀行・新聞

| 著者 | 書目 | 定價 | 特價 |
|---|---|---|---|
| 鶴見祐輔 | 自由人の旅日記 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 牧野英一 | 海を渡りて野をわたりて | 二・五〇 | 一・二五 |
| 尾崎行雄 | 咢堂漫談 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 米山梅吉 | 銀行行餘錄 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 下村宏 | 鯖を讀む話 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 下村宏 | さし潮ひき汐 | 一・六〇 | 〇・八〇 |
| 下村宏 | 皮と肉 | 二・二〇 | 一・一〇 |
| 下村宏 | 思ひ出草の一 白卷 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 下村宏 | 思ひ出草の二 黒卷 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 東京朝日新聞社會部 | 夏日夜話 | 一・六〇 | 〇・八〇 |
| 野村兼太郎 | 歐洲印象記 | 一・六〇 | 〇・八〇 |
| 稻畑勝太郎 | 歐亞に使して | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 松本勝太郎 | 海外を巡りて | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 長尾半平 | 禁酒叢話 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 長岡隆一郎 | 世界の動き | 一・二〇 | 〇・六〇 |
| 藤山雷太 | 南洋叢談 | 一・〇〇 | 〇・五〇 |
| 下村宏 | 新聞に入りて | 三・〇〇 | 一・五〇 |
| 下村宏 | 新聞常識 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 杉村楚人冠 | 新聞紙の内外 | 二・五〇 | 一・二五 |
| 藤田進一郎 | 東西記者行脚 | 二・二〇 | 一・一〇 |
| 原田讓二 | 歐米新聞遍路 | 二・〇〇 | 一・〇〇 |
| 太田正孝 | 新聞その折々 | 一・八〇 | 〇・九〇 |
| 下村海南 | 盗忠 | 一・二〇 | 〇・六〇 |
| 下村海南 | 飴ん棒 | 一・五〇 | 〇・七五 |
| 尾崎敬義 | 隨筆 秋花譜 | 一・八〇 | 〇・九〇 |

期間中現品卽賣書店

大連 大阪屋號書店
同 大阪屋號支店
同 滿書堂書店
同 金鳳堂書店
同 多以良書房
同 千山閣書房
同 每日舍書店
同 榮太郎書店
同 まるみや書店
同 光文閣
同 弘文堂
沙河口 小松勉强堂書店
旅順 大阪屋號書店
同 文英堂書店
瓦房店 板橋書店
大石橋 石文堂書店
鞍山 大盛堂書店
遼陽 金光堂書店
奉天 大阪屋號書店
同 弘文堂書店
撫順 能文堂書店
鐵嶺 大和屋書店
四平街 田中洋行
長春 森野書店
本溪湖 弘文堂書店
安東 文榮堂書店
其他各書店

**半價圖書目錄**は右卽賣店竝びに日本評論社臨時出張所に備附けてありますから御請求下さい

現品陳列竝卽賣所

大連 滿日社ホール
奉天 滿鐵社員俱樂部
撫順 滿鐵社員俱樂部
長春 滿鐵社員俱樂部
安東 滿鐵社員俱樂部

東京丸ノ内・昭和ビル
日本評論社
大連臨時出張所 遼東ホテル 電話三二七一番

# 歐亞連絡各列車の接續時間を縮める
## 長春の四時間を四十五分短縮
## 連絡會議で決定す

【東京特電十九日發】歐亞旅客連絡會議時刻表委員會は十九日午前九時半より鐵道省會議室で開會、東鐵、滿鐵、商船、北日本汽船及び鐵道省各委員出席、第三十五問題東鐵第六列車と滿鐵線列車との長春に於ける接續を缺くるに鑑み歐亞連絡列車の接續時刻改正に關する件を附議した結果、長春で四時間、哈爾濱で六時間の待合せ時間を長春で四十五分短縮、哈爾濱でも二時間位待合時間を短縮せしめ又モスクワでも相當短縮せしむる事に暫定的なものとして可決した、次いで第九問題極東側連絡時刻表制定の件の討議に入り審議の結果

イ、大連に於ける上海大連間汽船と滿鐵列車との接續に關する件は現行の儘とする事に決定

ロ、浦鹽、上海間航路とソ鐵急行列車との接續に關する件はソ國國營商船代表の出席を待ち討議する事とした

ハ、釜山經由と大連經由との運賃を同額とする件は釜山經由と大連經由とは一切符を發行し運賃は釜山經由を表示し大連經由に使用した場合は大阪商船にて差額を徴收するに決定、また西歐發の旅客はハルビンまたは奉天に至り經由の變更が出來ることになつた

## 修養團講習會

修養團滿洲聯合會では關東廳學務課と共同主催で來月三日午前十時半より六日まで四日間夏家河子水明館に於て夏季講習會を開催するが、講師は東京の修養團本部より招聘した本部理事牧野秀、同講師宇津木繁八、二上與吉の三氏で十六歳以上の男子百五十名を募集する、會費は二圓五十錢で參加希望者は旅順は關東廳學務課、大連は山城町五番地修養團滿洲聯合會（電八七七七番）宛申込のこと

## 私鐵疑獄公判

【東京十九日發】越鐵山手兩私鐵疑獄事件の續行控訴公判は十九日午前午後に亘り開廷、小橋前文相に對する審理を行つた

# 他人の膽本で警察を騙す
## 僞名の化けの皮をはがれた
## カフエー王座の女將

正隆銀行員謀殺事件に登場した一女性――犯人名越正吉の姿カフエー王座の女將兒島ツヤ（二三）はその後大連署の取調の結果、全くの僞名と判明し目下私文書僞造行使及び印鑑僞造行使といふ長ッたらしい罪名で取調を受けてゐる、即ちカフエー王座の女將たる彼女の素性は原籍福岡縣八女郡北川内村竹房ミヨ（二さ）で昭和四年二月郷里を無斷出奔して來連して以來、本名を明かされぬ事情があつて、知り合ひの福岡市寶町兒島ツヤといふ女性の名を騙り、浪速亭の女給に住み込むときも兒島ツヤの原籍から戸籍謄本を取寄せ、すつかり本人になりすまして大連署の許可を得、爾來數軒のカフエーを轉々としてカノエー王座の女將になるまで他人の氏名で通つて來たものが、名越の行員毒殺事件ですつかり化けの皮をはがれたものである、なほ保安係でも營業取締規則違反として取調べてゐるが、或は營業取消處分に附されるものではないかと見られてゐる

# グリーンランド探檢隊出發
## ランゲ氏とコッホ氏が指導
## 今後三年間滯在する

【東京特電十九日發】コペンハーゲン來電によれば北洋の秘境グリーンランドの探檢隊六十六名は五十四匹の探檢犬と八隻のモーターボートを携へて一隻の汽船に分乘し十七日コペンハーゲンを出發した、探檢隊の指導者は有名なデンマークの探檢家ランゲ氏及びコッホ氏の兩人で共に獨逸のエッケナー博士の生涯の友人で探檢隊六十六名中十三名迄はデンマーク人で他はドイツ人とスエーデン人である一行は今後三ケ年間グリーンランドの東海に止まり各種の科學的研究に從事し時々グリーンランド島の奧地に探檢を行ふ計畫である

# 詔勅に對し有難い御下問
## 國字改良を御進講申上げた
## 保科博士謹んで語る

【東京特電十九日發】東京高等師範學校教授保科孝一氏は十八日午後二時から宮中御學問所で國字改良問題に就き約五十分間に亘り陛下に御進講申上げたが、氏は退下後謹んで語る

陛下には御進講申上げました事に對しまして種々下問あらせられましたが、特に近代の詔勅がむづかしいと思ふが何うかとの有難い御下問があり、私は國民一般にはもつと判り易く平易に書いて戴き度い事を希望してゐる樣に思はれますと恐懼奉答申上げますと陛下には畏くも度々御頷かせられますのを拜しました

# きのふの野球展入場者遂に三千名を突破
## 操り人形、野球舞踊、映畫など好評

本社樓上において開催中の本社主催の野球展覽會は俄然ファンをヒットし開會當日の十八日には入場者約二千名、第二日目の十九日は遂に

**三千名を** 突破し係員も度膽を拔かれた態で益々好評を博してゐる、何といつても人氣の中心は應援席をバックにしたリーダーの操り人形である、慶大、明大、早大、立大等東都六大學の應援歌につれ手拍子好く踊り出す姿は實物を髣髴させアンコールにつぐアンコールで舞臺裏の本社員の速成操り師は汗だく〳〵の體である、また午後四時卅分から講堂で開かれる銀鈴少女會出演の中澤不二雄氏作歌の「野球のうた」の舞踊も

**人氣を呼** び夜はルーフで早慶戰野球漫談等の野球に關する映畫さては「運動の分解」と題する高速度寫眞等の映寫で野球ファンは勿論スポーツ關係者に喜ばれてなり第二日目は工專學生團體見學などあり非常な盛會であつた、尚十九日より滿鐵理事大藏公望氏の出品にかゝる米國の野球入場券並に各球場の寫眞、芥田武夫氏所有の六大學リーディングヒッター記念像、その他貴重な記念品等數種の出品があつた

野球展の餘興　『野球の歌』舞踊

# 愛よ人類と共にあれ　あす封切會
## 上山草人の歸朝記念特作品
## けふ會券を前賣する

日本の生んだ國際的映畫俳優としてハリウッドに於て活躍してゐる上山草人の歸朝記念主演映畫として松竹蒲田が島津保次郎監督の下に日本映畫界未曾有の巨費と贅澤なキャストを以て製作した現代劇特作品「愛よ人類と共にあれ」前後篇廿卷は久しく當地ファンからその上映が待望されてゐたが、既報の如く二十一日午後七時から協和會館にて本社主催大連滿鐵社員俱樂部後援で封切會を催し、この日本映畫界に光彩を放つ金字塔を紹介する、會費は一般七十錢本紙讀者及、俱樂部員は五十錢に優待割引するが、封切會當日は日曜日につき會券前賣及び座席券交換は今廿日午前八時から社員俱樂部事務所で俱樂部員は後援ひで取扱ふはず

# 繼走が呼物
## 旅順の女子體育大會

關東廳の大英斷を以て本年度より擧行される關東廳體育研究所主催の第一回關東州內女子中等學校聯合體育大會はいよ〳〵けふ二十日午前九時四十分より旅順運動場に於て旅順、大連神明、彌生、羽衣、女子商業の五女學校生徒三千百四十五名參加し華々しく開始されるが、諸女學校演出のマスゲーム及び各學年對抗の四百米繼走等が興味の中心となつて居る、なほ陸上競技は各學年別で行ひ、左の順序である

▲集合（午前九時四十分）▲國旗揭揚式▲開會の辭▲合同體操（十時）▲走巾跳決勝（十時十分）▲プレーグラウンドボール權決勝（十時十分）▲バレーボール一年及び二學年對抗（十時十分）▲バスケットボール一年對抗（十時十分）四年對抗（十一時）▲六十米一年並びに三年豫選（十一時）▲百米一年四年豫選（十一時十分）（晝食）▲女子商業ダンス「レルンメリング」（正午）▲バスケットボール（十二時十分）▲バレーボール一年並びに二年對抗（十二時十分）▲羽衣高女ダンス「胡蝶」（一時）▲バスケットボール三年對抗（一時十分）▲バレーボール三年並びに四年對抗（一時十分）▲六十米各學年決勝（一時十分）▲旅順高女ダンス「ナポリタン」（二時）▲百米各學年決勝（二時十分）▲バスケットボール四年對抗（二時三十分）▲彌生高女ダンス「ポーランド民謠オリヤルダンス」（二時三十分）▲各學年對抗四百米繼走（三時十分）▲神明高女々子聯盟體操（四時）（午後四時三十分終了の豫定）

# 實滿定期野球戰
## 第三回戰

二十日午後四時廿分　滿俱球場に於て擧行

審判者　高須一雄、熊谷玄兩氏

主催　滿洲日報社

早大柔道選手の練習（きのふ滿〔…〕で）

# 飛行船格納庫の天井から飛降る

【土浦十九日發】霞ケ浦航空隊の一等水兵山中金作（二〇）は十八日午後六時飛行船格納庫（嘗てツエッペリン伯號を收容したもの）内の地上百十尺の天井裏に攀ぢ上り其處から飛び降り自殺を圖りコンクリートで頭部を碎き即死した原因不明であるが勤務上には過失はなかつたと

## 現代百美人

名士名流夫人がこの人こそ現代第一の美人と折紙をつけた美人一百人、美麗な寫眞入りで「講談俱樂部」七月號に紹介、大評判！

# 高射砲の射擊場所
## 防空演習當日の

大連防空演習に參加の旅順重砲兵大隊が七月四日午後二時から星ケ浦において十サンチ高射砲の實彈射擊を行ふ事は既報の通りであるが、今回の結果場所は星ケ浦水族館前の海岸と決定した、なほ海面浮標に對する飛行機よりの機關銃射擊も同時刻、同一場所の海上と決定した、而して右演習に旅順重砲兵大隊より參加の高射砲は四門であるが配置場所は連鎖商店前二門、朝日廣場附近空地二門と決定之が運搬は國際運輸會社に於て無償で引受る事に打合が濟んだ

# 國際陸上競技
## 理事會の申合せ

【東京十九日發】去る五月二十七日ロンドンにて開かれた國際陸上競技聯盟理事會にては來るべきロスアンゼルスにおけるオリンピックに關し

一、プロフエッショナルのスターを使用せぬ事

一、マラソンと五萬メートルウオーキング選手は各國三名に減員する

その他を申合せ又一般陸上競技につき左の申合せを爲した

一、各國共選手の職業家を嚴重に取締る事

一、自國の陸上競技聯盟の許可なくして他國主催の競技會に參加せざるやうに爲す事

一、外國滯在中は其國の陸上競技聯盟規則に從ふ事

# 愈よ近く開始する歐亞間二大航空路
## 南京哈爾濱間も計畫

獨、蘇、支三國の航空輸送協定成立し、歐亞航空郵便輸送は既に上海を起點として、南京、北平、滿洲里の線をイルクーツクに繫ぎこれを開始してゐる外、上海から中央亞細亞、トルキスタンを繫ぐコースを近く開始するとありこの線は三晝夜で歐洲に達しシベリア線より二日速いが、暑のため、シベリヤ線より困難といふ、南京、天津からハルビンの線も近く開始するため、ハルビン飛行場の設計成ると、この二大歐亞航空幹線が開始される曉は各方面に大影響あらう【奉天電話】

# 大連市政改善の調査事項と經費
## きのふ委員會で決定

大連市役所の市政調査に關する各委員の主查會議は十九日午後二時三十分から助役室において開かれた、出席者は岡野、仙波、宮崎二村、高塚各委員主査に市役所側から田中市長、永井助役以下各課長、湯級委員會で決定した昭和六年度に調査すべき事項およびこれに伴ふ所要經費について協議したが大體において調查事項は左の通り決定、所要經費は原案合計一萬八千七百五十圓となつてゐるも之を各項分擔經費を按配し一萬四千圓前後に切り詰めて編成かた市理事者に一任する事とし同四時三十分散會した

（左記事項中▲は調査急を要するもの、○は本年度および明年度において調査すべきもの、●は本年度において爲し得る程度に調査すべきもの）

### 調查事項

一、學務委員會に關するもの
▲商工學校に關する件
○市の經營すべき教育施設に關する件
○小學校、公學堂に關する件
1、市移管に關する件　2、經費負擔に關する件

一、稅務委員會に關するもの
稅則　戸別割、諸車使用稅、遊興稅等に關する規則）改正に關する件
○關東、稅務の市移管に關する件
○稅源調查に關する件

一、衞生委員會に關するもの
▲下水管未完成方面に於ける下水管敷設促進に關する件
撒水作業の能率增進に關する件
直接掃除に關する件
▲屎尿處理に關する件
▲塵芥處理に關する件
衞生作業使役人夫に關する件
行商人、宿所設置に關する件
屠場に關する件（附家畜市場並に家畜繫留場設置に關する件）

一、社會事業委員會に關するもの
小賣市場制度の改善及び增設に關する件
中央公園の施設改善に關する件
▲簡易圖書館、簡易診療所の設置及保健浴場利用の件
魚市場の市移管に關する件
社會病を救濟し社會事業の統一徹底を期する件

一、特別事業委員會に關するもの
▲市における制度改善に關する件
▲市吏員の公舍建設に關する件
（略設計圖）
西廣場市有地利用に關する件
（同上）
▲財源調查に關する件（市稅に關するものを除く）
▲市制二十年記念事業に關する件

一、都市計畫に關する件

### 調查費豫算

一、金一萬六千百圓　各委員會分擔事項調查費總額
內譯
三、六〇〇圓學務委員會分擔事項調查費
四、〇〇〇圓衞生委員會同上
三、五〇〇圓社會事業委員會同上
五、〇〇〇圓特別事業委員會同上
一、金二千六百五十圓共通費
七三　圓委員費用辨償
二一五圓臨時給仕給
二五〇圓備品費
二五〇圓消耗品費
四〇〇圓印刷費
五〇〇圓通信費
三〇〇圓雜費
合計一萬八千七百五十圓調查費總額

## 長山丸進水式

既報の如く長山列島居住民と獐子島居住民によつて同列島獐子島間を週航の小汽船を當地西森ドックにおいて建造中のところこの程竣工、十九日午前十時よりこれが進水式を擧行した、同船は列島の名に因み長山丸と命名したが噸數十九噸長さ五十二尺船長は海務局所屬警城丸機關長宮內幸吉氏がそれに當り二十三日廻航する由

## 山東難民三萬滿洲に移住

山東難民救濟委員會では本年約十萬の移民を東三省に收容して欲しいと東北政務委員會に通告して來たが、省政府では各縣に向その收容力を調査せしめたところ到底十萬は收容し得ず約三萬を各地に配分する旨を回答した【奉天電話】

## ニコルス孃壯途へ

【ニューヨーク十八日發】先月末から大西洋の飛行日和を待つてゐたアメリカ婦人飛行界の花形ルース・ニコルス孃は十八日愈々ポートランドに向け大西洋橫斷準備航程に上る事となつた

## 外人船員招待

十九日午後七時より海務協會シーメンスホームにおいて入港中の外國汽船乘組員三百五十名を招待、例によつてゲイシャガールの手踊で興を添へ初夏の夕を過ごさうといふ事になつた、尙當日は特に入港中のパトログース號のジャズバンドが得意のジャズを奏するさ

## ベビーゴルフ大會

來る廿一日日曜午前七時よりハフイス時計會社特約店奧田時計店、營口近江洋行、森洋行後援で連鎖街ゴルフリンクにて第二回メダルプレイ大會を行ひ一名三回のプレイ中最小打數者に左の賞品を贈呈すさ

一等白金側八形振動不感ハフイス腕時計一個一名、二等十八金側十形振動不感ハフイス腕時計一個一名、三等クローム側十形振動不感ハフイス腕時計一個一名

## 柔劍道の講習

關東廳警務局では管內各警察署における劍道教師及び助教師、助手四十三名を振武館に集め二十五、六日劍道、二十九、三十日柔道の日割で短期講習會を行ふさ

## 安樂椅子

先日ヤマトホテルで開かれた火曜會での席上貝瀨謹吾氏が「過ぐる明治卅七年佐渡丸の遭難に出會して危ふく命拾ひをしたのが六月十五日であつた」

「それから滿鐵入社後、星移り物替り、昨年職制改正と人員整理により馘首の厄に遭つたのが同じく六月十五日、更に滿一ケ年を經て待命期間が盡き完全に滿鐵との緣が切れたのが去る六月十五日である」

「ところが滿鐵正副總裁の任免が正式に發表されて當の仙石前總裁が滿鐵を去つたのが又六月十五日だ、だから六月十五日といふのは僕にとつて妙な廻り合はせの日だ」とつく〳〵述懷したのでこれを聞いた並居る連中「ナール程れ」とこれ又つく〳〵感心させてあつたさうだ（寫眞は貝瀨謹吾氏）

衛生 家庭

# 自分でわかる 胃腸病の診斷

◇かうして早く手當を致しませう

これから梅雨時を迎へて、次第に胃腸病の多い季節になつて參ります。胃腸病の症候として一番多いのは、痛みと下痢ですが、その具合によつて、大體その病氣が何かといふことが見分けられます。

## 心窩部の痛みは 胃潰瘍か胃酸過多

胃は心窩部にありますから、そこが痛むのは大概胃の痛みと思つて差支へありませんが、時として心臟病、肋膜炎、膽石病、盲腸炎の時もやはり心窩部が痛むことがあります。しかし胃の痛みは必ず食事と關係があります。

食後すぐから、一二時間までの間に起るのは、胃潰瘍に特有です。しく／＼痛い位の程度から、燒けるやうな、抉るやうな痛み、時には背中にまで走るやうに感じます。この痛みは胃の中に出來た爛れた腫物のやうな部分に食物が觸れるために起るので、吐血をして昏倒することがあり、胃癌に變化することもあります。しかし胃癌は却つて痛みを感じてもさほど烈しくないことが多いものです。

空腹時に痛むのは大概胃酸過多症と思つて間違ひありません。これは胃液の分泌が多すぎる病氣なので、痛みばかりでなく、俗にいふ胸燒け、噯氣を伴ひます。

急性胃カタルでも胃が痛みますが、これは食あたりから起ることが多いので、大概先きに嘔吐が起ります。そして食慾が全くなく、口が乾き、腸カタルを伴つて下痢をすることが多いものです。

急性胃カタルの治療が適當でないか、または絶えず飲食物の不養生をしてゐると、慢性胃加答兒になります。舌に苔が生へ、口中が臭く、胃に大して痛みはありませんが壓すと痛く、やはり噯氣や胸やけがすることも有り榮養が衰へて、身體が痩せてきます。俗に胃病持ちといふのがこれです。

## 胸痞へは 胃擴張と胃弱

食べた物が何時までも胸に痞へてゐるやうな氣持、胃の膨滿感は胃擴張と胃アトニー、即ち胃弱とに共通する容態です。胃擴張は胃袋が非常に大きくなつて、普通の大きさに戻る力を失つた病氣で、よく嘔吐が起ることがあり、早朝胃の内容を檢べますと、前日の食べ物が殘つてゐます。

胃アトニーは胃の筋肉が衰弱して、食物を腸の方へ送る力が衰へ、丁度彈力を失つたゴム風船のやうになつてゐて、胃擴張によく似てゐますが、胃の中が空虚になれば元の大きさに還ります。

## 胃の機能の 回復が根本

以上のやうな胃の病氣には、病症が違へばそれに用ふる藥も違ふのが當然でありますが、近頃胃癌を除いたその何れにも用ひられて、非常によく効く藥があります。それは御承知の方も多いと思ひますが、榮養學者として名高い澤村眞博士の發見された「わかもと」といふ藥で、一般の服用者の便宜のために「錠劑わかもと」として發賣されて居ります。

この藥が何故そんなに色々の胃の病氣に効くかと申しますと、非常に成分が複雜してゐて、例へば消化を助けるヂアスターゼやペプシンに類する多數の酵素もあり、過剰な胃酸を中和する成分、潰瘍の治癒を促す成分など、それ／＼の病症に適應した効果があるにもよりますが、根本は胃を組織してゐる細胞に活力を與へて、食物を送り出す働き、胃液を分泌する働き等すべての機能を衰弱から回復し、異常から正常にひき戻す作用があるによります。これを學術上プロトプラズマ・アクチヴイールングといつて、右の「わかもと」の最も大きな特色であり、今日有名な胃腸病院では第一に使用されて、胃腸藥の王座を占めてゐる新發見藥であります。

**胃の中をうつす寫眞** 近頃米國で胃の内部を寫眞にうつす機械が發明されました。上圖のやうな構造で、細い管の先に小さな寫眞機と、光線がついてゐるのを口から胃の中に挿入して寫すので、胃病の診斷に大變役に立ちます。

## 便秘と腸カタルが 手輕になはせる

腸の病氣で最も多いのは腸カタルで、下痢を主徴といたします。急性症は食あたりが原因することが多く、胃カタルと一緒にきます。下腹部にさし込むやうな痛みがあり、一日數回、或は十數回の下痢をし、大腸を犯されますと、所謂しぶり腹といつて、便通はさほどないにも拘らず、絶えず便意を催すのに惱まされます。

慢性腸カタルは急性腸カタルの手當が惡いためになる事もあり、食物の不養生から始めから慢性症として起ることもあります。一日一回又は數回下痢をするのが普通ですが、中には下痢と便秘が交る／＼に來るものもあります。

慢性腸カタルに罹ると、腸性消化不良といつて、食べた物が消化されないで排泄されます。如何なる成分が消化されないかは糞便を調べてみますと解りますが、素人でも解るのは便に細かい泡を混ずるので、これは含水炭素（御飯の主成分）の消化が惡いのです。その外脂肪の消化が惡いのや、蛋白質（肉類の主成分）の消化の惡いのもあります。

これらの便には粘液を混じてゐるのが普通ですが、更に血液や膿などを混してゐるのは腸結核の疑ひがあります。殊に毎早朝下痢をするのは腸結核に特有です。これは結核菌が腸に潰瘍をつくつた病氣で、大出血を起すことがあります。

## 便秘の毒素が 全身を循環する

便秘は下痢の反對ですが、これもよくある腸の病氣で、多くは腸のアトニー、つまり胃アトニーと同じ様に腸が内容物を排泄するところの運動力が衰へたためです。

便秘の害は世人が想像するより大きいものがあります。直接に續發し易いのは痔疾で、盲腸炎や腸捻轉などの危險な病氣も、便秘の人に多く發します。便通が腸の中に滯りますと、細菌がこれを分解して種々の毒素を發生し、それが血液中に吸收されて全身に廻りますから、身體の方々に故障が現はれてきます。

便秘すると、上逆せるとか、頭痛がする、不眠になるとかいふのは、その毒素が腦を犯すからで、腦溢血、中風の原因となる血管硬化にも、便秘の毒素がよほど害をします。婦人方の容色の衰へ、ニキビや、シミ、ソバカスなどもこれから來ることが多いのです。

## 消化力を 強める酵素

さて腸カタルと便秘は反對の病症ですから、當然それを癒す藥も一方は下痢止め、一方は下劑と、別々のものでなくてはならない筈ですが、面白いことには前に胃のいろ／＼の病氣に効があると申しました澤村博士の錠劑「わかもと」が、また腸カタルと便秘の兩方に對し非常によく効きます。これは舊時代の考へ方によると不思議に思へますが、今日の進んだ醫學では極めて合理的のことで不思議でも何でもありません。

腸カタルは前に述べましたやうに、腸の消化力が害されたために起るものですから、消化力を強くすることが第一の要件です。ところが前記の「わかもと」には、消化を司る酵素が非常に澤山に、それも今までの消化藥の様に穀類なり肉類なり一つの消化力しか持たぬものから見ると格段の進歩で食物のすべての成分、脂肪を消化するものでも、肉類、即ち蛋白質を消化するものでも、穀類即ち含水炭素を消化するものでも、みんな含まれてゐます上に、人體内の消化酵素の働きを數倍に強める作用もありますから、腸加答兒患者の腸内の微弱な消化力でも、充分補はれ、且強められます。それで不消化便は消化便となり、下痢は自然に適度の軟便となります。

## 腸の中が 綺麗になる

便秘の方に對しては如何かといひますと、胃アトニーに對して効があつたと同じ理由で、衰弱弛緩した腸管に活力を與へ、適度に蠕動運動を起させるのであります。一般の下劑が腸を刺戟して、痛みを起させたり、習慣性となつて、すぐ効かなくなるなどの缺點がないのもこの藥の長所です。

それに整腸といふ方面からいふと、まだ種々の効能を持つてゐます。それは腸内の有害黴菌を殺し、所謂制腐消毒の効ある點では、在來の乳酸菌製劑などの及びもつかない力があり、從つて腸の中が非常に綺麗になり、食物が腐敗醱酵を起し、毒素を發生するといふやうなことが防がれます。それで蕁麻疹や、ニキビなども自然に出なくなり、顏色も艷々としてきます。

### 醫學小話 胃腸患者と ヴイタミン

一般に胃腸病者は消化し易いやうに充分調理された食物を攝るのでどうしてもヴイタミンが不足する。低下してゐる榮養を恢復する上から云つても、ヴイタミンの攝取は非常に大切である。

しかしヴイタミンにはA、B、C、D、E等の種類があつて、それ／＼その含まれてゐる食物が違ふが、たゞヘーフエといふ黴生物中には、これら各種のヴイタミンがすべて豊富に含まれてゐる。

澤村眞博士が發明された錠劑「わかもと」はこのヘーフエの全成分を基礎としたもので、それらのヴイタミンはすべて破壞されないやうに包含されてゐるから、胃腸病を癒す點からばかりでなく、榮養を補給する意味からも非常に有効である。

## 榮養酵素療法

かういふ優れた藥を、澤村博士はヘーフエといふ黴生物から發見されました。これがわが國にヘーフエ製劑の出來た最初で、その病氣を癒せば、榮養もよくなる、四方八方に及ぶ効果は醫學界を驚かしました。今では「わかもと」の名は、その道の大家で誰知らぬものもありません。

しかも喜ばしいことは、この新發見の優秀な藥が、普通の營利業者の手におちないで、わが國民の健康增進のために種々の社會事業を行ふ事を目的とする榮養と育兒の會から、非常な大衆的廉價で發賣されて、數十萬の病者を救ひつゝあることであります。

御希望の方は東京市芝公園大門際四四 榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）へ藥價だけ御送金になれば、送費は會で負擔して急送されます。藥價は二三〇錠一円六十錢、八〇〇錠五円。（代金引替は十一錢增し）

「わかもと」粉末＝新藥＝九〇瓦入 卅日量一圓六十錢

「錠劑わかもと」同様各藥店に取扱

### 養鷄家の手記

## 發育の早いこと 風船玉のふくれる様（多產卵で思はぬ儲け）

北山嘉吉（福岡）

澤村博士御發見の「錠劑わかもと」が、病者に如何に効果があるかは、多くの方々から實驗談の御發表があります通りで、私ども一家族も「わかもと」に惠まれ、幸福に暮してゐるのでございますが、偶然この「わかもと」が家畜に對しても大變効果あることを實驗いたし、これも「わかもと」の偉大な効能を證據立てるよき例と存じますので、お話し致したいと存じます。

**私ども** は副業として五十羽餘り養鷄を致してをりますが、子供たちまで鷄を家族の一員として可愛がりますので、雛も他所様よりよく育ち、近郊より分讓を申し込まれますので、自然母鷄に澤山育雛させるやうになります。

**それは** 母鷄を二三羽同時に一所に抱卵させ、それが孵化しますと、その雛全部を一羽の母鷄に託して育雛させ、雛をとつた母鷄にはすぐ二回目の卵を抱かせますので、四十二日以上も襲坐し、大變弱ることがあります。

**そこで** この母鷄に毎日給餌前、「わかもと」を一錠づゝ與へてみましたら、五六日位から顏面の血色が出て、若雌のやうにつや／＼して參り、疲れるどころか二回目の孵化を終つて廿日頃には、もう育雛しながら産卵をはじめたではありませんか。

**喜びの** 餘り今度は雛に餌付から「わかもと」の粉を餌にまぜ與へてみましたら、初生雛につきものゝ餌づまりや餌づかれもなく一羽もわかず、發育の早いことは風船玉のふくれるやうで、日に日にマン丸く肥り、一羽の斃死もなく育ち、早いのは四ケ月と十二日で産卵を初め、よく産み續けました。

**次に七** 月頃からは春の多産疲れと、暑さのために、産卵がなくなり、卵の値段が高くなりますので、六月中頃からまた「わかもと」を與へてみましたら、疲れもせず、多産しましたので、思はぬ利益を得ました。

**（付記）** 北山様が「錠劑わかもと」を鷄に與へて奇効を實驗せられましたのは、要するにこれが榮養酵素劑とも呼ばれて、すべての生物の生活機能の根本である酵素の作用を旺にし、發育を進め榮養を昂める効果によるもので、大變興味深く拜見しました。